

家の家

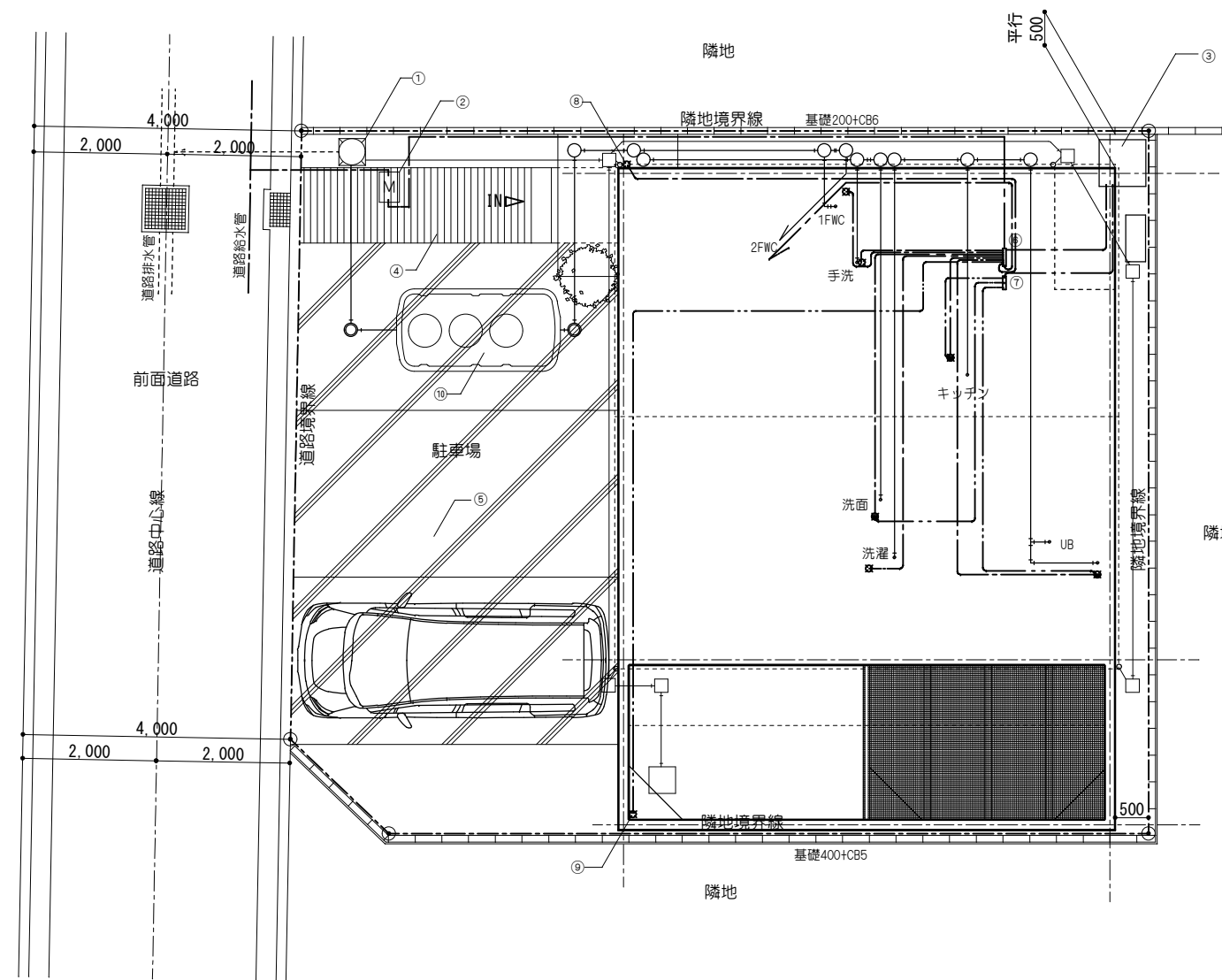
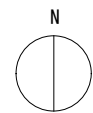
uchi no ie

外部		部位	仕様	認定等	備考	部位	仕様	認定等	備考
基礎	地耐力	地盤調査結果による				サッシ	アルミサッシ：LIXIL デュオPG ナチュラルシルバー		
	基礎仕様	鉄筋コンクリート造ベタ基礎					ガラス：ペアガラスLOW-E		
	基礎立上り	モルタル塗り刷毛引き仕上							
床下換気		基礎バックキ							
外壁 (直張り工法・通気工法)		窯業系サイディング t=16 杉下見板張り t=15 木材保護塗料塗り							
	耐力壁	ダイライトMS 一部丸鋼ブレース (コボット)							
屋根		ガルバリウム鋼板葺はげ葺き			棟換気				
軒天		庇部分：ウレタン塗装							
屋根裏換気		軒先換気口 (カネシン)							
樋	軒樋	塩ビ (バナソニック)							
	縦樋	塩ビ VU60φ							
バルコニー	床	スチール製グレーチング t=19 歩道用							
	手摺	スチールフラットバー t=30 ウレタン塗装							
庇		ガルバリウム鋼板平葺き							
玄関ポーチ	屋根	ガルバリウム鋼板平葺き							
	床	磁器質タイル張り100角							
ウッドデッキ		杉105x105 木材保護塗料塗り (オスモ)							

内部												
階	部屋名	床下地	床仕上	壁下地	壁仕上げ	天井下地	天井仕上げ	巾木	回り縁	床高さ (mm)	天井高さ (mm)	備考
1F	玄関	土間コンクリート	磁器質タイル張り100角	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	野縁45x45@455 石膏ボード t=9.5	ビニルクロス張り	柵H=40	無し	GL+400	1FL+2100	下駄箱H=600 : 造り付け (大工造作・杉)
	ホール	構造用合板 t=28	杉板 t=35	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	野縁45x45@455 石膏ボード t=9.5	ビニルクロス張り	柵H=40	無し	1FL±0	1FL+2100	
	ダイニング	構造用合板 t=28	杉板 t=35	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	吹抜け	吹抜け	柵H=40	無し	1FL±0	吹抜け	
	リビング	構造用合板 t=28	スタイロフォーム t=60	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	吹抜け	吹抜け	畳寄せ：柵	無し	1FL±0	吹抜け	階段部分通し柱：杉120x120
	キッチン	構造用合板 t=28	杉板 t=35	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	2階床組み現し	2階床組み現し	柵H=40	無し	1FL±0	1FL+2357	床下収納600角 キッチン：TOYOキッチン
	WC	構造用合板 t=28重ね張り 針葉樹合板 t=6	クッションフロア張り	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	野縁45x45@455 石膏ボード t=9.5	ビニルクロス張り	ソフト幅木	無し	1FL±0	1FL+2100	
	洗面脱衣室	構造用合板 t=28重ね張り 針葉樹合板 t=6	クッションフロア張り	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	野縁45x45@455 石膏ボード t=9.5	ビニルクロス張り	ソフト幅木	無し	1FL±0	1FL+2100	排水トラップ 洗面化粧台：LIXIL
	浴室	UB1616										
2F	ホール	構造用合板 t=28	杉板 t=35	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	柵H=40	無し	2FL±0	天井無し	
	WC	構造用合板 t=28重ね張り 針葉樹合板 t=6	クッションフロア張り	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	野縁45x45@455 石膏ボード t=9.5	ビニルクロス張り	ソフト幅木	無し	2FL±0	2FL+2100	
	主寝室	構造用合板 t=28	杉板 t=35	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	柵H=40	無し	2FL±0	天井無し	
	子供部屋	構造用合板 t=28	杉板 t=35	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	柵H=40	無し	2FL±0	天井無し	
	ロフト		杉板 t=35直張り	石膏ボード t=12.5 (大壁)	ビニルクロス張り	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	登り梁：SPF2x6 (38x140) @303現し 野地板：杉板 t=35現し	柵H=40	無し	2FL+2475	MAX=ロフトFL+1400	ロフトタラップ (大建工業)







室内建具	階段	収納共通
造作建具・ポリ合板フラッシュ トイレ・主寝室：ロック有り	踏み板：杉板 t=35	床・壁：隣接する部屋と同じ
額縁：柵	けこみ：PBt=12.5 ビニルクロス張り	天井：PBt=9.5 ビニルクロス張り CH=2100
	手摺：杉50φ	表記：収納は付属品無し クローゼットは棚板1段+ハンガーパイプ

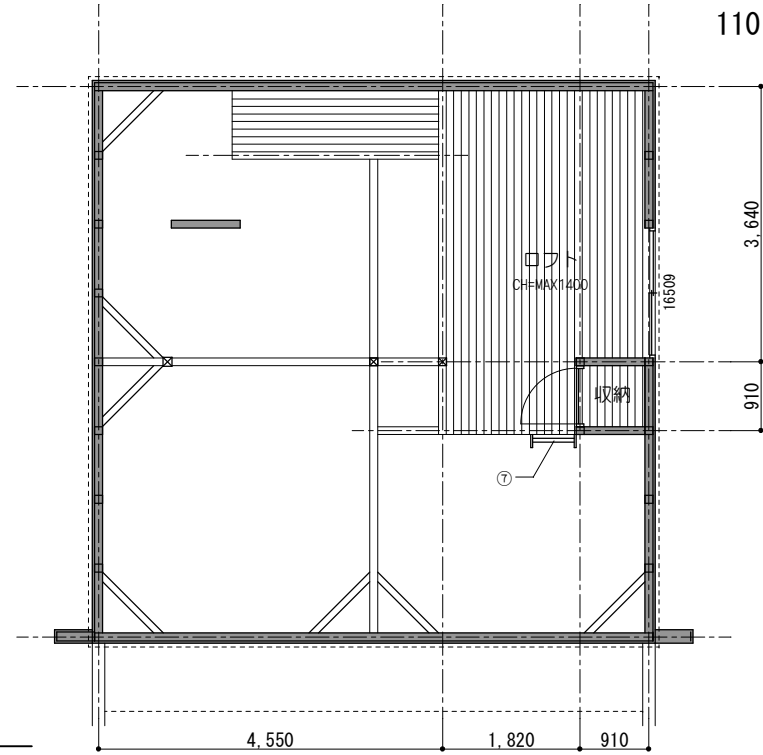
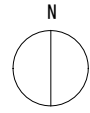
特記事項			
シックハウス対策関係	内装制限関係	排水処理方法	併処理浄化槽
複合フローリング t=12 F☆☆☆☆ 柵セット F☆☆☆☆ いぐさ畳 F☆☆☆☆	ビニルクロス 準不燃 (OM9828)	24時間換気扇設置	別図参照
ビニルクロス F☆☆☆☆ 集成材ブレカット階段 F☆☆☆☆ キッチンパネル F☆☆☆☆	キッチンパネル t=6 不燃NM-9401	火災報知機設置	別図参照
合板 t=12 F☆☆☆☆ カウンター：集成材 F☆☆☆☆ システムキッチン F☆☆☆☆	石膏ボード t=9.5 準不燃 (H12告示1401第1第2号)		
構造用合板 t=28 F☆☆☆☆ 雑巾ずり F☆☆☆☆ 玄関収納 F☆☆☆☆	石膏ボード t=12.5 不燃 (H12告示1400第16号)	給湯器：エコキュート	
クッションフロア F☆☆☆☆ 畳寄せ F☆☆☆☆ 洗面化粧台 F☆☆☆☆		加熱機器：IHヒーター	
室内建具・襖 F☆☆☆☆ 縁甲板 t=12 F☆☆☆☆			
化粧巾木 F☆☆☆☆			
木質調化粧紙張り合板 F☆☆☆☆ 水性EP：エマルジョンペイント=規制対象外			



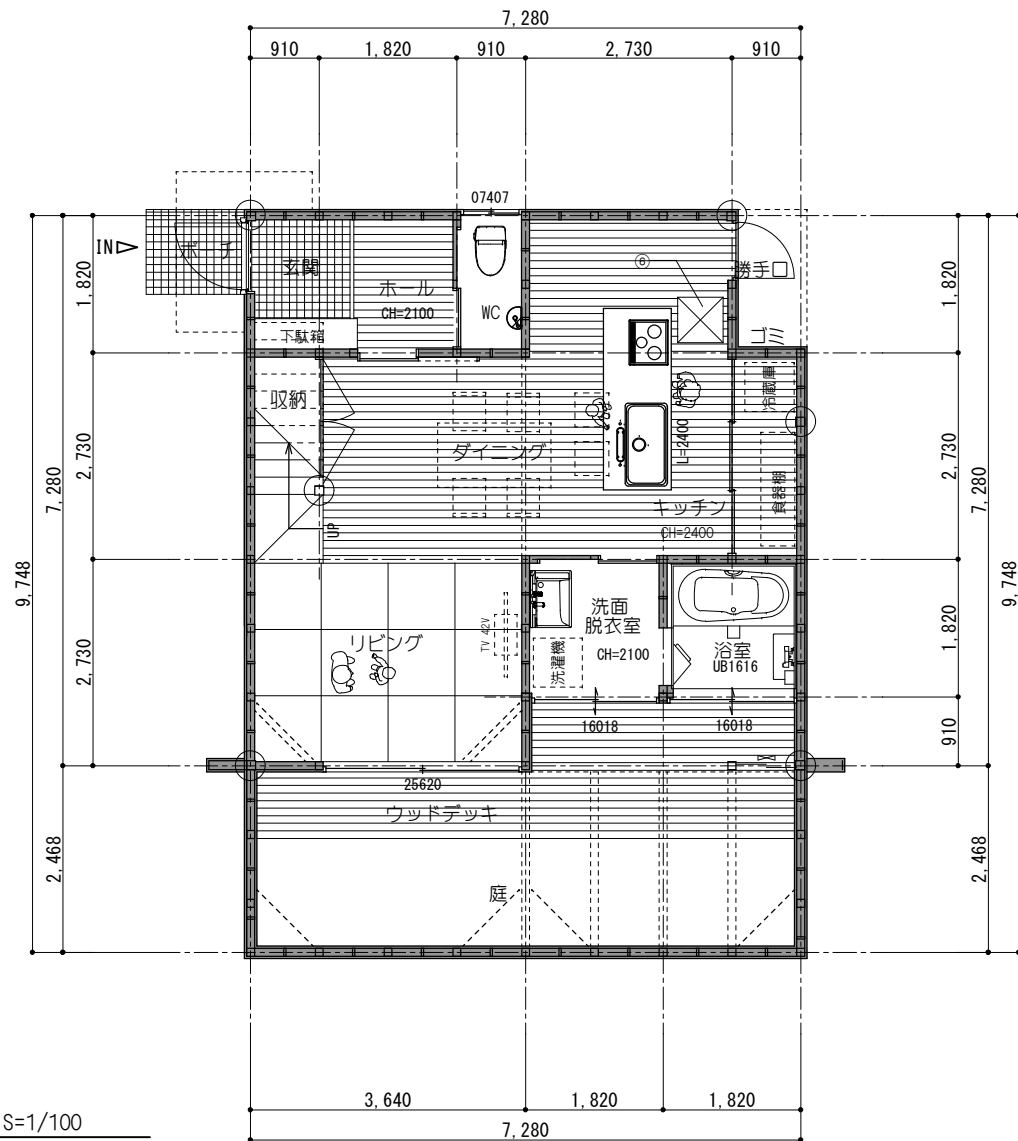
■凡例

- ① 最終樹
- ② 量水器
- ③ エコキュート
- ④ 枕木
- ⑤ 土間コンクリート金こて押え D100x200シングル 砕石地業 t=120
- ⑥ 給水ヘッダー
- ⑦ 給湯ヘッダー
- ⑧ 立水栓
- ⑨ 立水栓
- ⑩ 合併処理浄化槽 5人槽 補助金有り:12万円(10人槽まで)

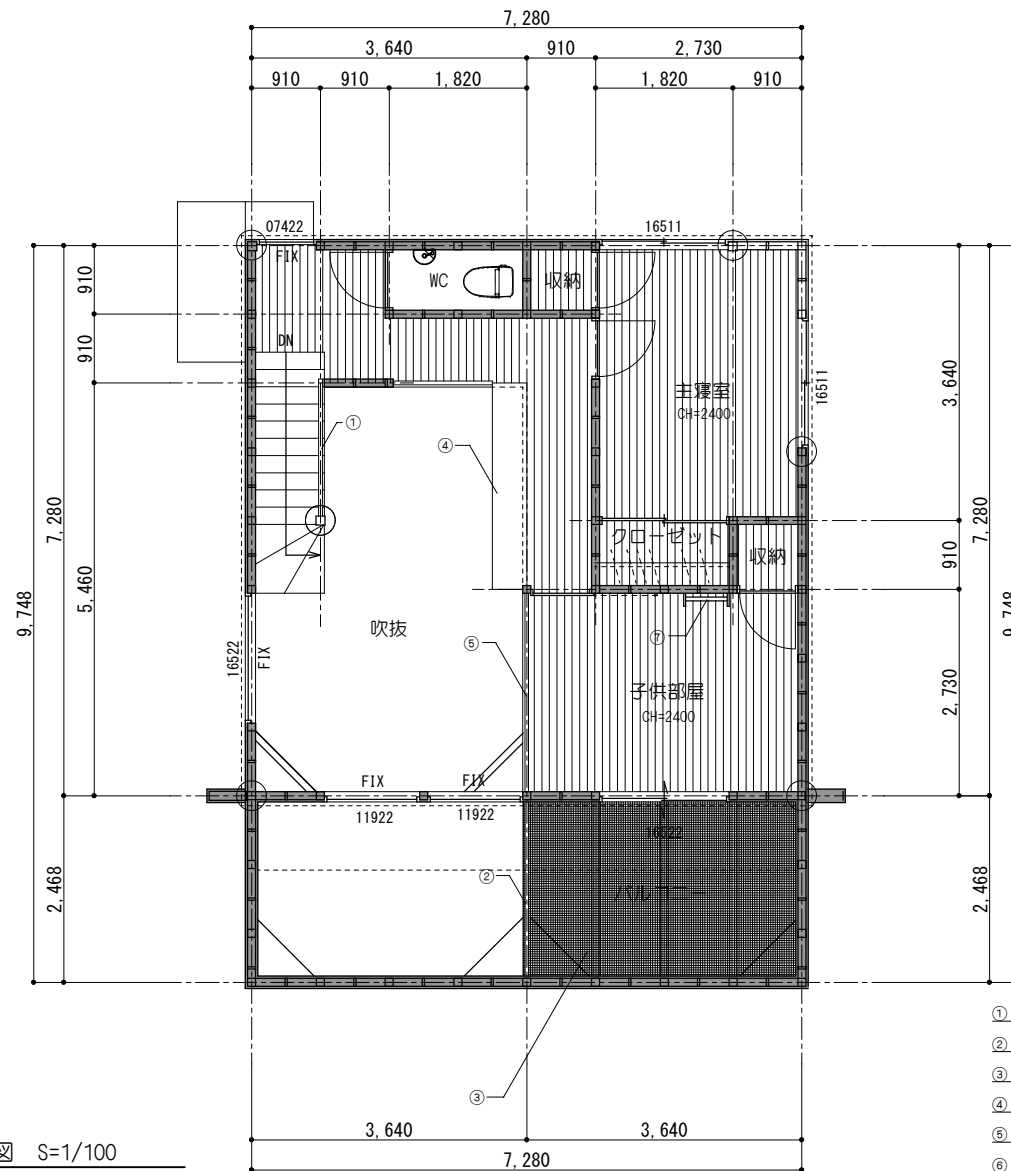
-  汚水・雑排水 (小口径)
-  汚水・雑排水 (小口径耐圧蓋)
-  雨水管 (小口径)
-  雨水管400角
-  給水管
-  給湯管



ロフト平面図 S=1/100

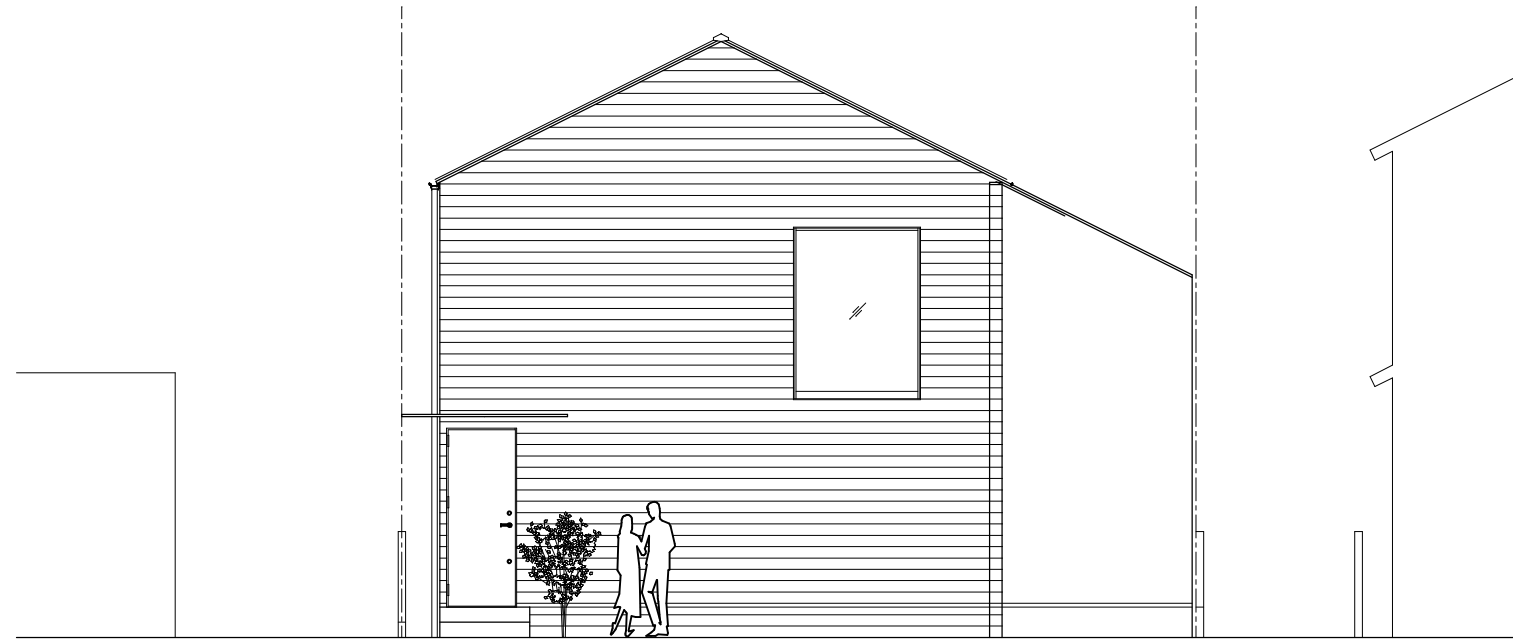


1階平面図 S=1/100

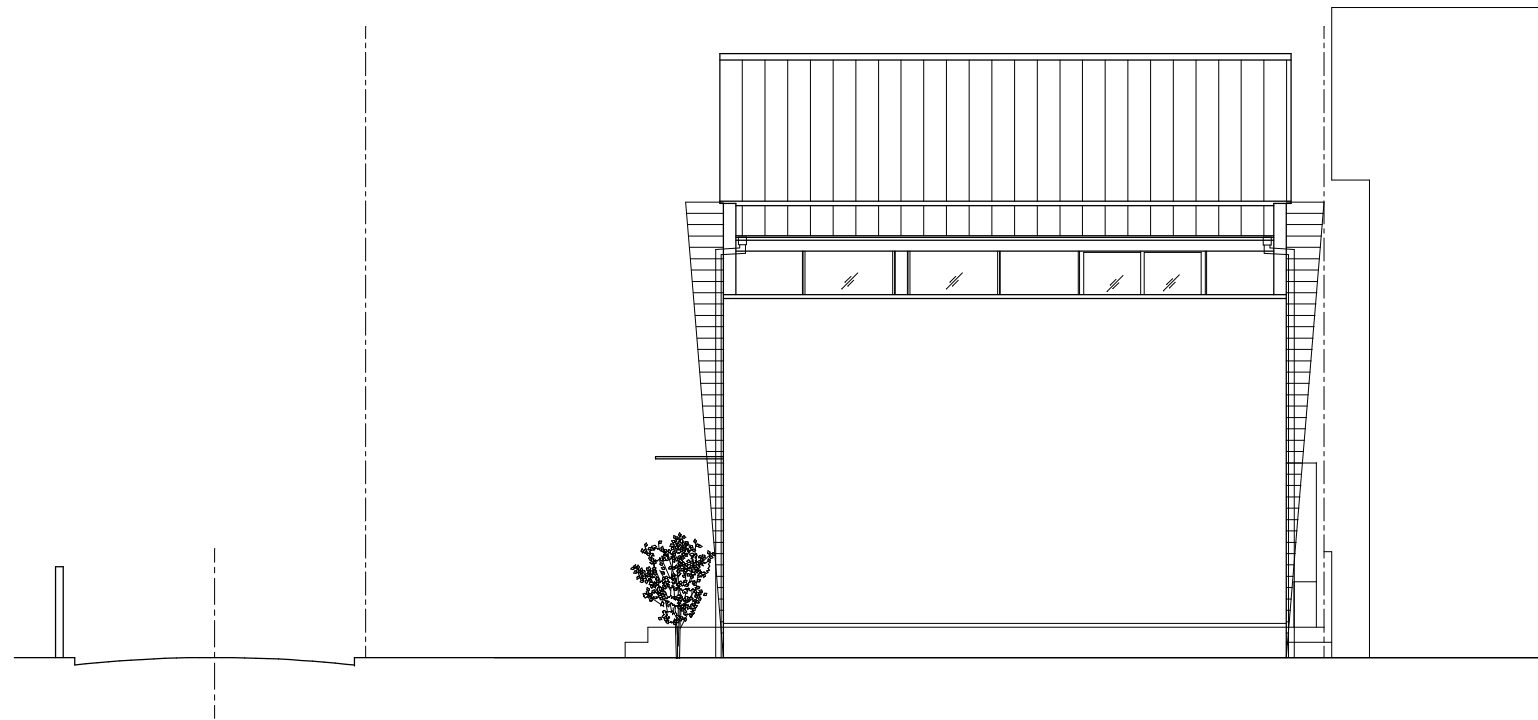


2階平面図 S=1/100

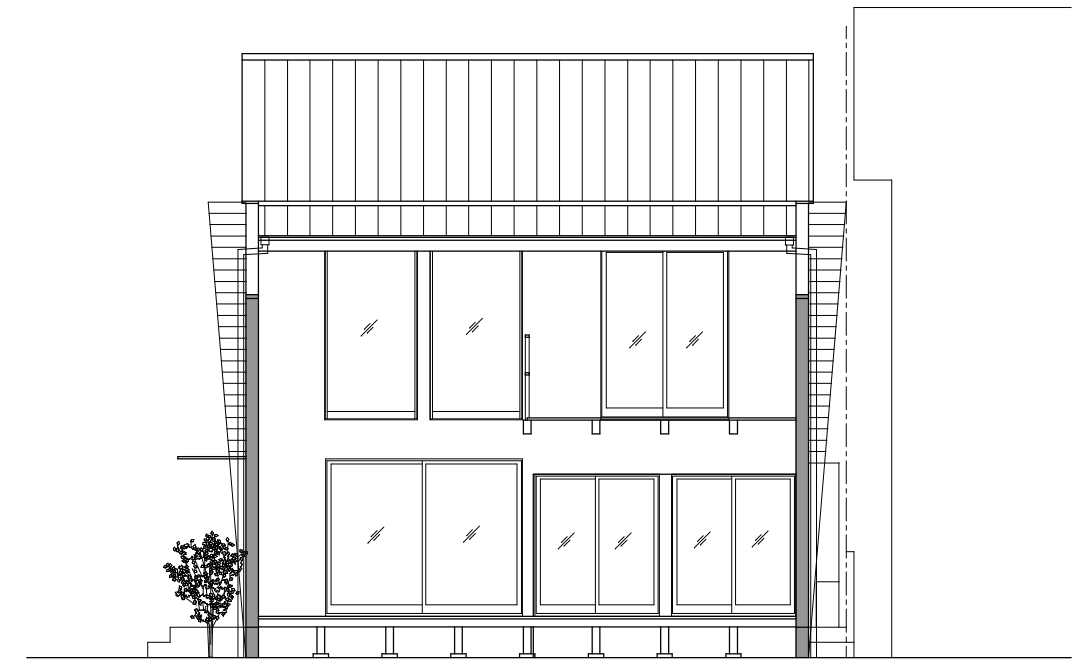
- ① 手摺 : 杉50φ
- ② 手摺 : アルミフラットバー
- ③ 床 : グレーチング敷き
- ④ カウンター : 杉板 t=35
- ⑤ 手摺 : 杉50φ
- ⑥ 床下収納
- ⑦ ロフトタラップ



西側立面図 S=1/100



南側立面図-1 S=1/100



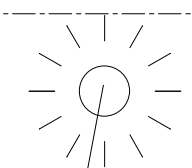
南側立面図-2 S=1/100



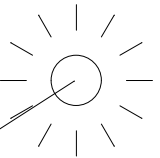
東側立面図 S=1/100



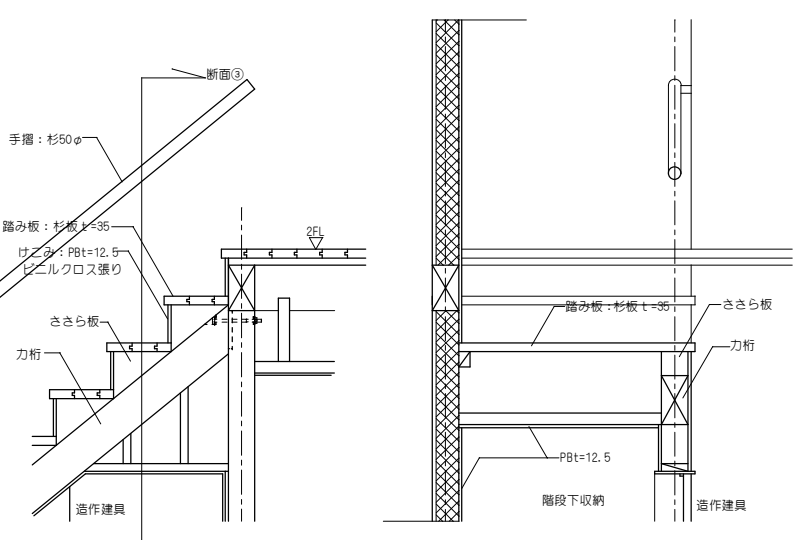
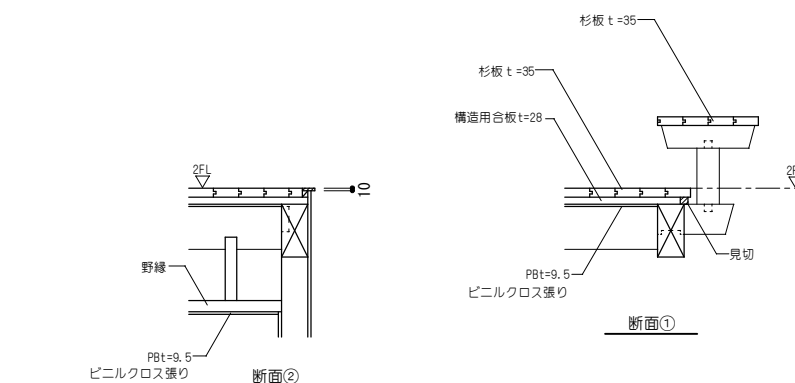
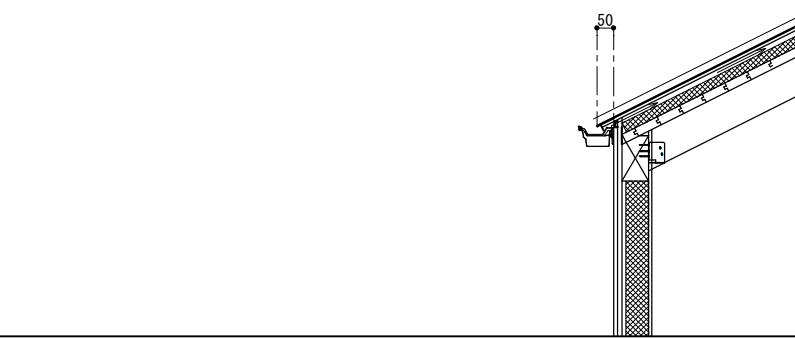
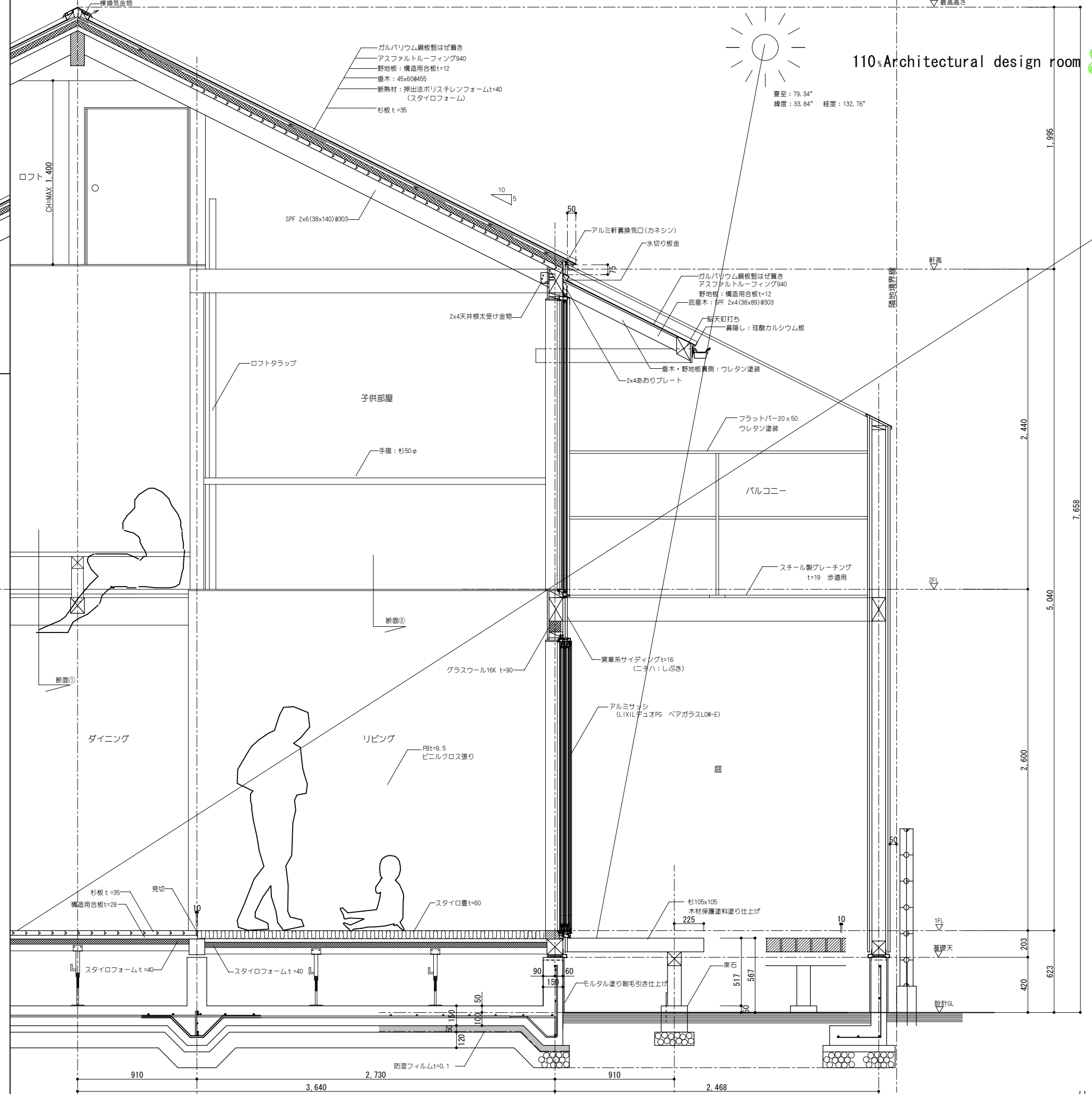
北側立面図 S=1/100

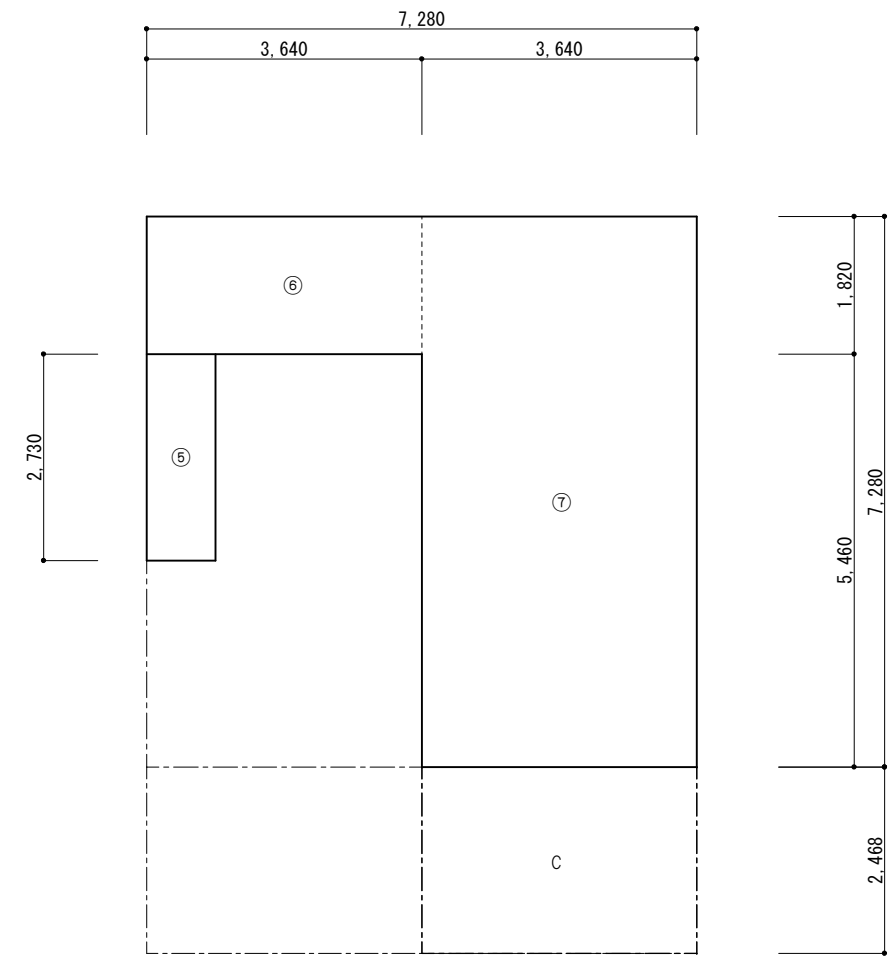
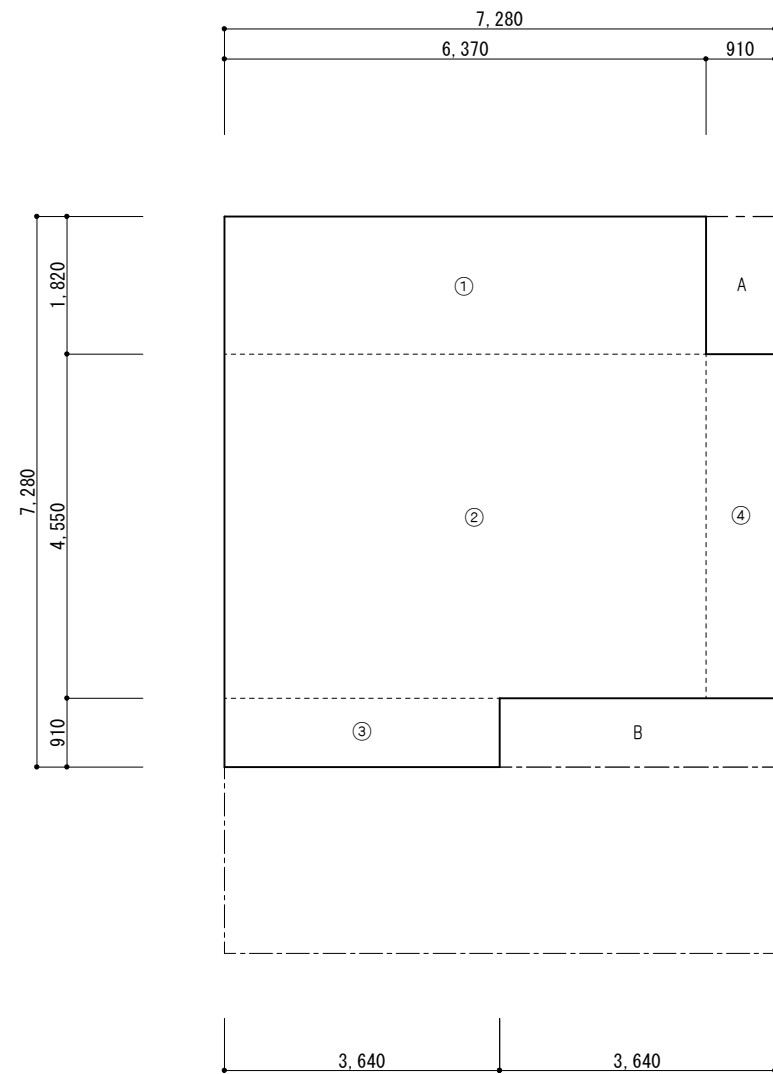
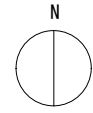


夏至：79.34°
緯度：33.84° 経度：132.76°

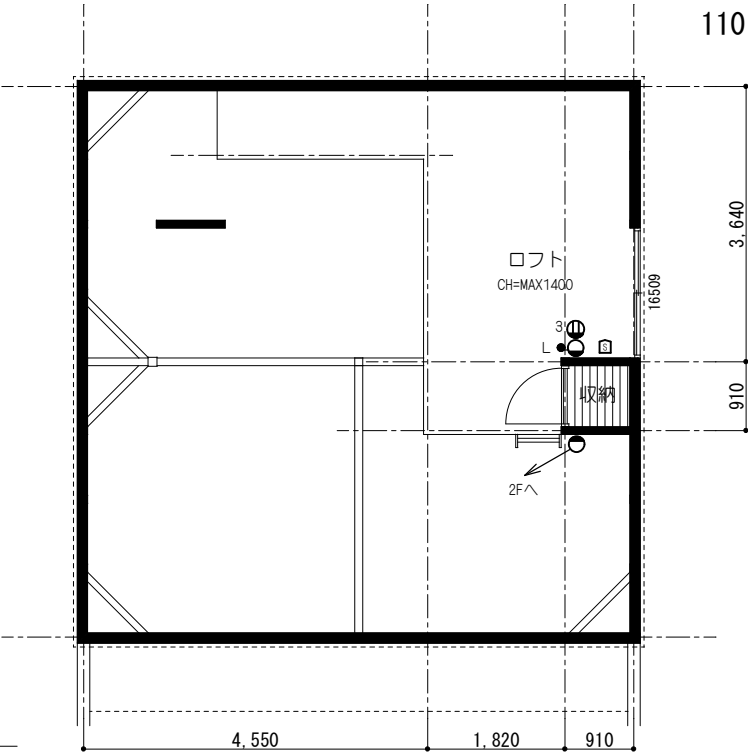
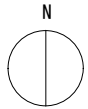


冬至：32.72°
緯度：33.84° 経度：132.76°

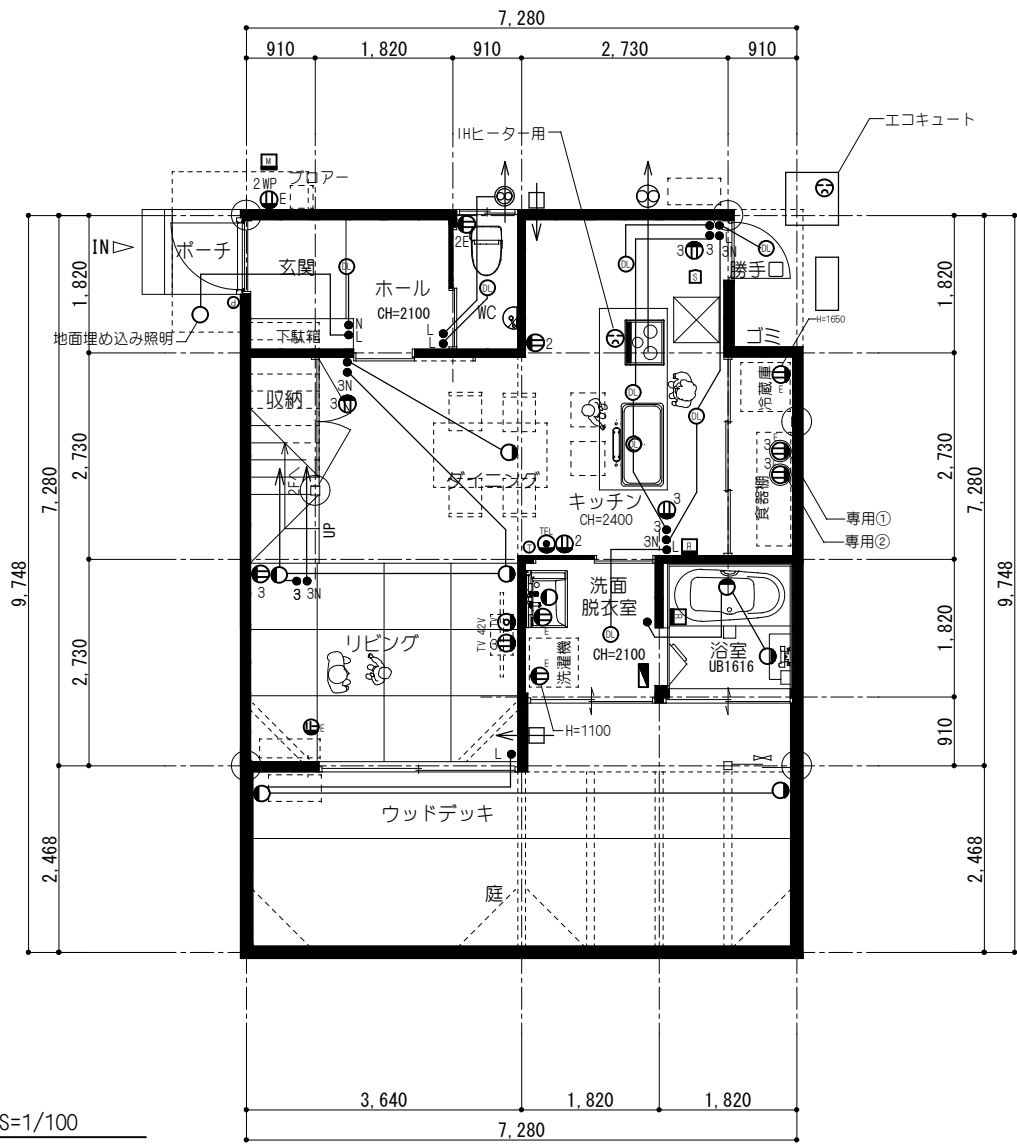




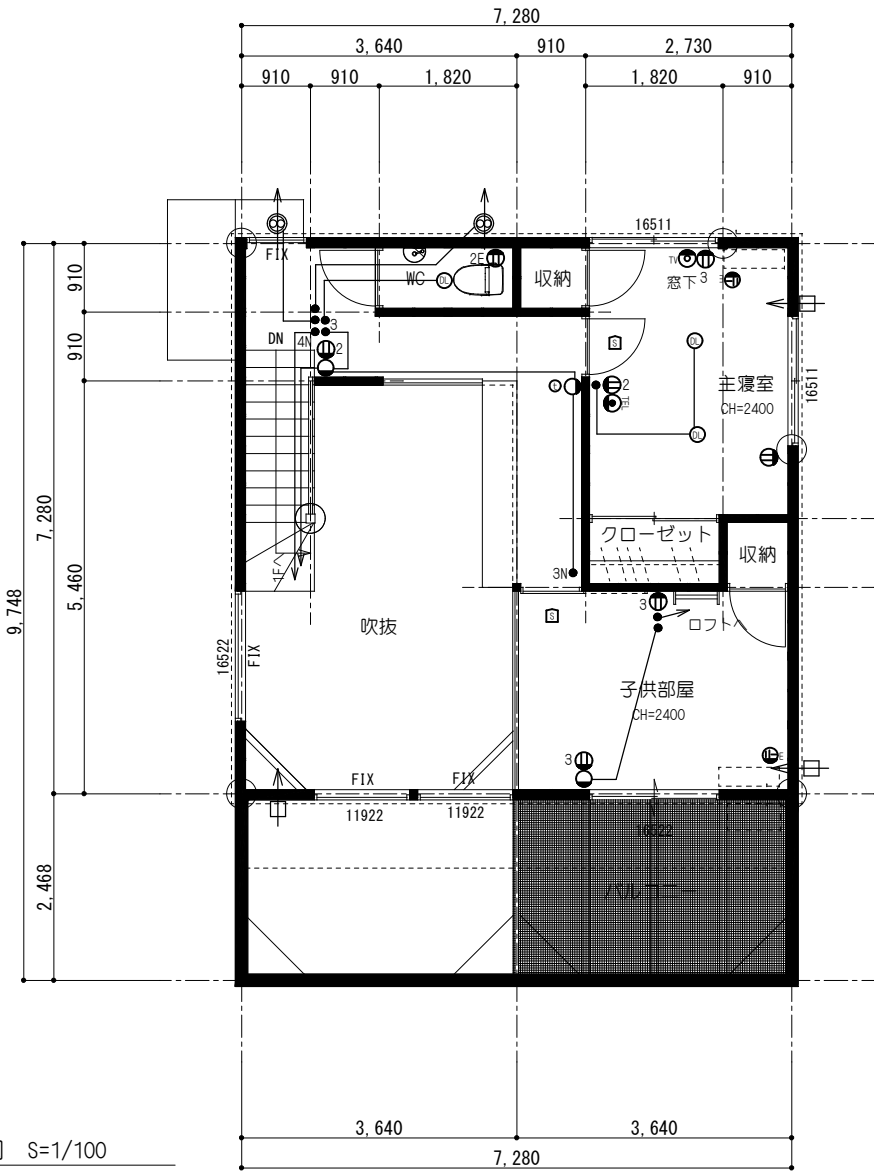
面積計算		床面積		建築面積
1階	2階	1階床面積		①+②+③+④+A+B+C=61.98192
① 1.820 x 6.370 = 11.5934	⑤ 2.730 x 0.910 = 2.4843	①+②+③+④=48.0298		
② 4.550 x 6.370 = 28.9835	⑥ 3.640 x 1.820 = 6.6248	48.02㎡		
③ 0.910 x 3.640 = 3.3124	⑦ 3.640 x 7.280 = 26.4992	2階床面積		
④ 4.550 x 0.910 = 4.1405		⑤+⑥+⑦=35.6083		
A 1.820 x 0.910 = 1.6562		35.60㎡		
B 3.640 x 0.910 = 3.3124		延床面積		
C 3.640 x 2.468 = 8.98352		48.02+35.60=83.62		
		83.62㎡		



ロフト平面図 S=1/100

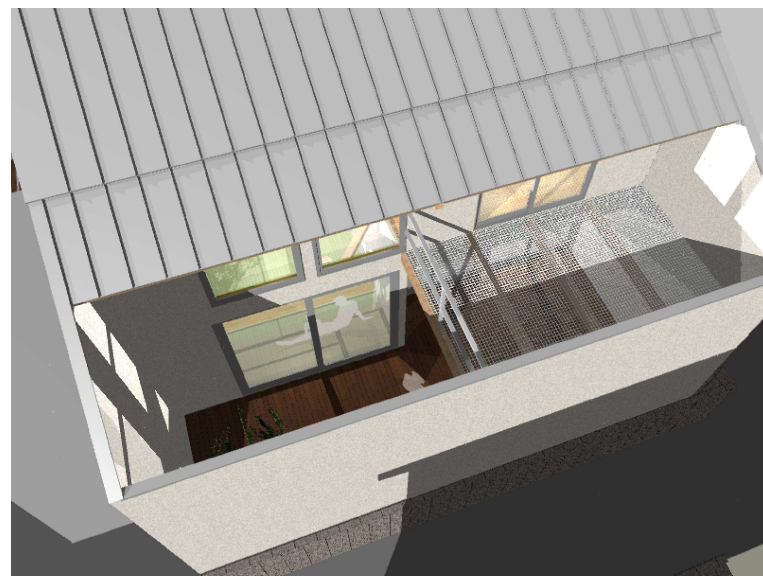
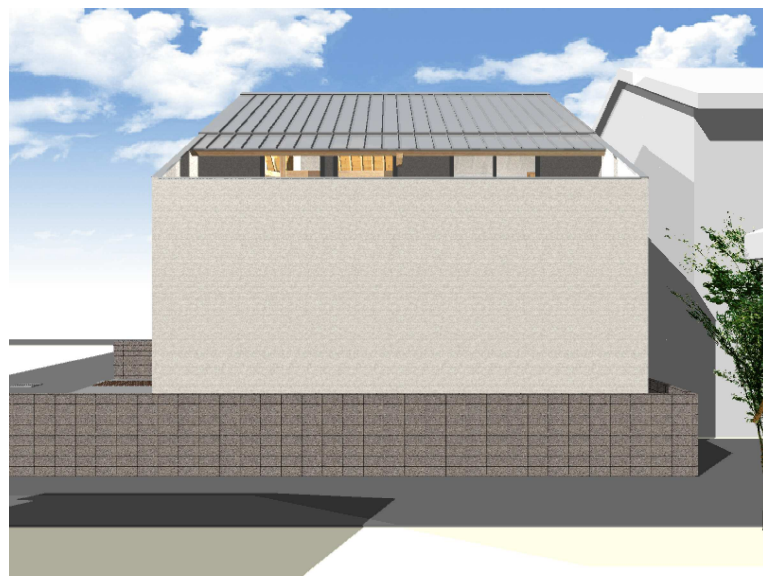
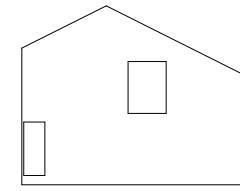


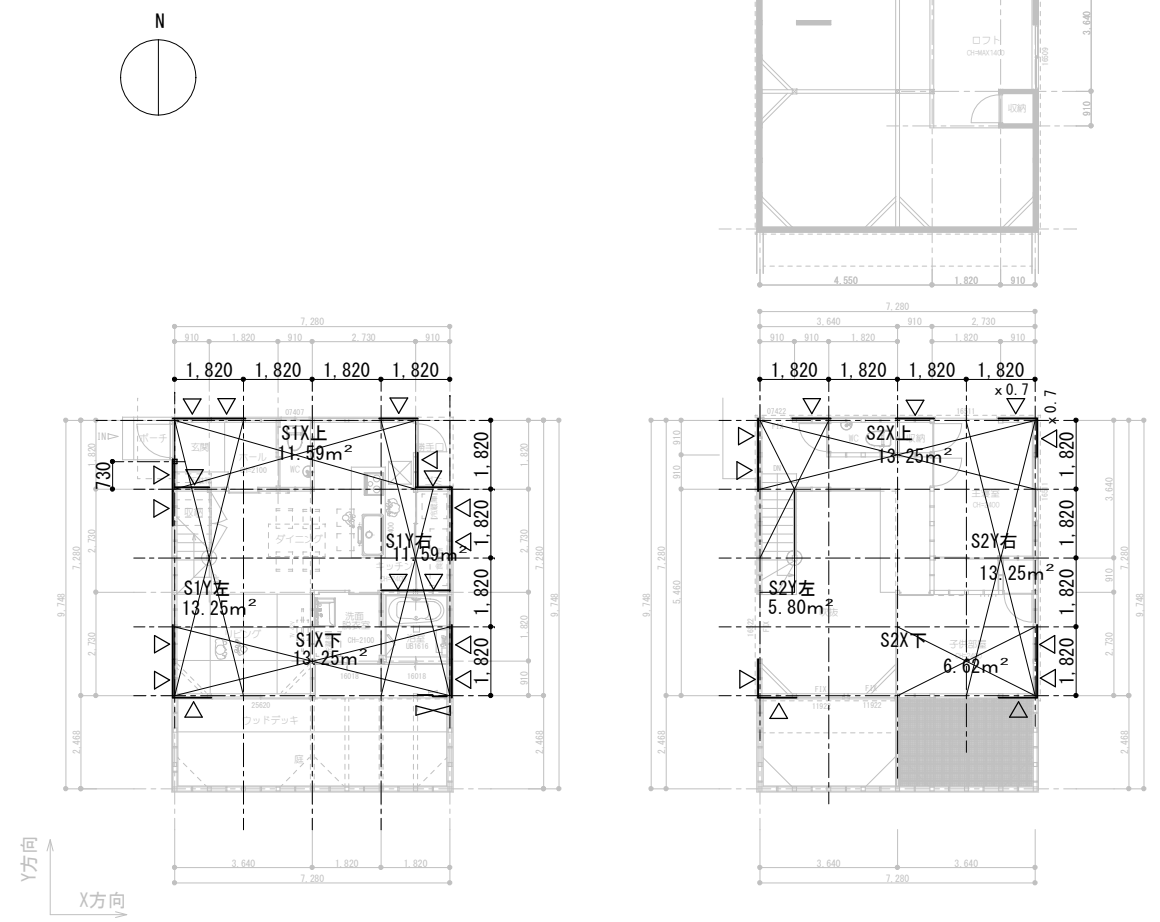
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

記号	名称	仕様
●	一般コンセント 取り付け高さ表記なきがぎり H=300	表記無し 2口
		3 3口
		E アース付き
		S 1口
		MP 防水コンセント
Ⓜ	エアコン用コンセント 取り付け高さ表記なきがぎり H=200	表記無し 100V
Ⓢ	200V用コンセント	
Ⓝ	電話用コンセント 取り付け高さ表記なきがぎり H=300	
Ⓝ	テレビ用コンセント 取り付け高さ表記なきがぎり H=300	
Ⓝ	2重入は専用回路を示す	
Ⓝ	棚下灯	
Ⓝ	網棚ブラケット	
Ⓝ	引っ掛けシーリング	
Ⓝ	給湯器リモコン	
Ⓝ	火災報知機	表記無し 煙式
Ⓝ	LAN用コンセント	表記無し カテゴリ5
Ⓝ	分電盤	
Ⓝ	換気扇	
Ⓝ	24時間換気扇	
Ⓝ	自然換気口	
Ⓝ	ダウンライト	
Ⓝ	玄関ドアホン	カメラ付き
Ⓝ	インターホン室内機	カラーモニター付き
Ⓝ	インターホン室内子機	カラーモニター付き
Ⓝ	電気錠操作盤	
Ⓝ	電気メーター	
Ⓝ	TV分配器	
●	スイッチ	
●	取り付け高さ表記なきがぎり H=1100	3 3路スイッチ 4 4路スイッチ L パイロットスイッチ N ホタルスイッチ 瞬光スイッチ T タイマースイッチ





1. 必要壁量

(1) 地震力に対する必要壁量

床面積 (m ²)	階の床面積に 乗ずる数値 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)
1階 51.33m ²	29	1489
2階 48.02m ²	15	721

※ロフト床面積を2階床面積に加算。
洗面・浴室南プロティ部分を1階床面積に加算。

(2) 風圧力に対する必要壁量

X方向用			Y方向用		
見付面積 (m ²)	見付面積に 乗ずる数値 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)	見付面積 (m ²)	見付面積に 乗ずる数値 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)
1階 ③+④ 47.13m ²	50	2357	①+② 45.21m ²	50	2261
2階 ④ 20.96m ²	50	1048	② 26.12m ²	50	1306

(3) 必要壁量

X方向		Y方向	
1階 1489 ≤ 2357	2357採用	1489 ≤ 2261	2261採用
2階 721 ≤ 1048	1048採用	721 ≤ 1306	1306採用

(4) 存在壁量

	X方向				Y方向			
	壁長さ (cm)	壁倍率	存在壁量	判定	壁長さ (cm)	壁倍率	存在壁量	判定
1階	91*8=728	3.0	2129	2429 ≥ 2357	91*8=728	3.0	2403	2403 ≥ 2261 OK
	91*1=91	2.7			OK 73*1=73	3.0		
2階	91*4=364	3.0	1283	1283 ≥ 1048	91*5=455	3.0	1556	1556 ≥ 1306 OK
	91*1=91	3.0*0.7			OK 91*1=91	3.0*0.7		

2. 軸組みのつりあいの良い配置の検討

(1) 側端部分の必要壁量

	X方向			Y方向				
	側端部分の 床面積 (m ²)	床面積に 乗ずる数値 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)	側端部分の 床面積 (m ²)	床面積に 乗ずる数値 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)		
1階	S1X上	11.59	29	337	S1Y左	13.25	29	385
	S1X下	13.25	29	385	S1Y右	11.59	29	337
2階	S2X上	13.25	15	199	S2Y左	5.80	15	87
	S2X下	6.62	15	100	S2Y右	13.25	15	199

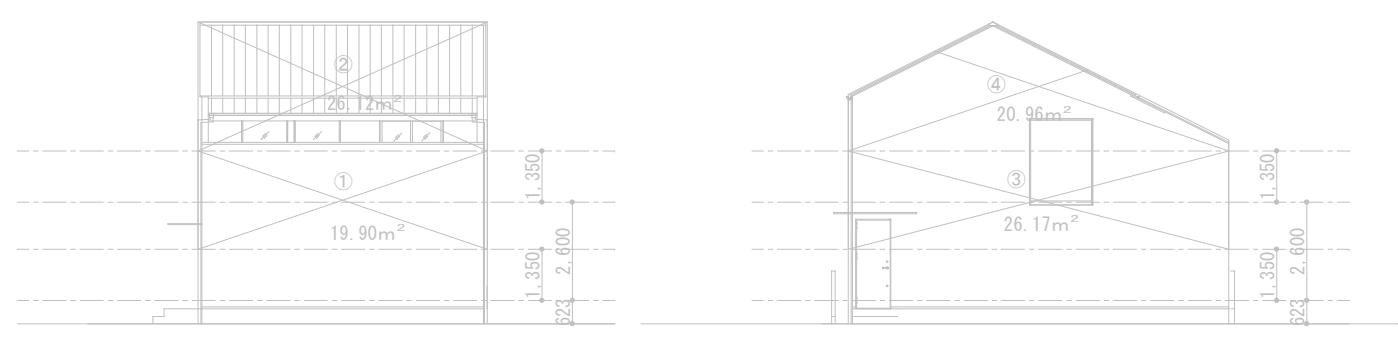
(2) 側端部分の存在壁量

	X方向			Y方向		
	壁長さ (cm)	壁倍率	存在壁量	壁長さ (cm)	壁倍率	存在壁量
1階	S1X上 91*5=455	3.0	1365	S1Y左 91*4=364	3.0	1092
	91*1=91	3.0		S1Y右 91*5=455	3.0	1365
2階	S2X上 91*2=182	3.0		S2Y左 91*3=273	3.0	819
	91*1=91	3.0*0.7	737	S2Y右 91*2=182	3.0	
	S2X下 91*2=182	3.0	546	91*1=91	3.0*0.7	737

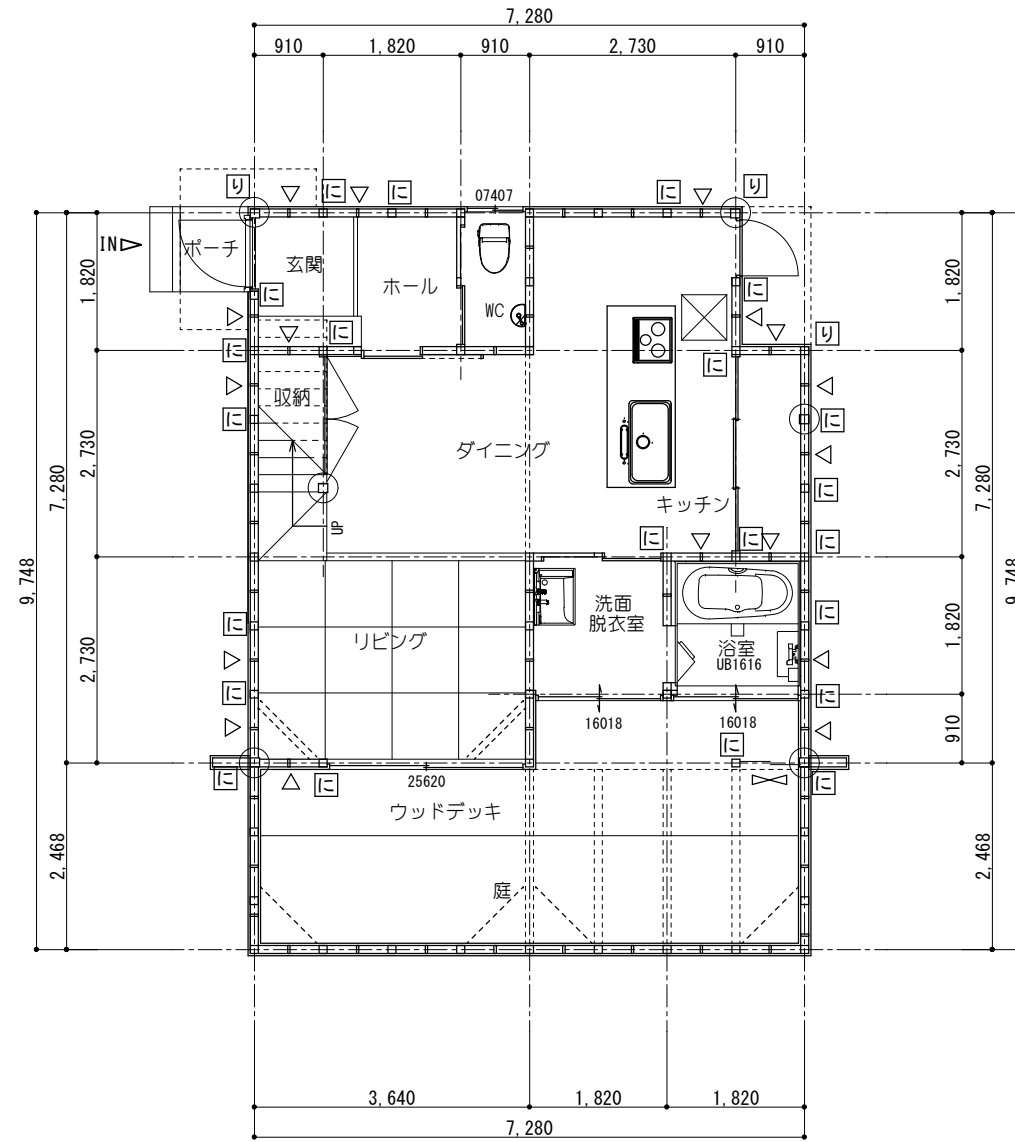
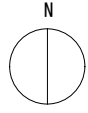
(3) 壁量充足率

壁量充足率1.0以上

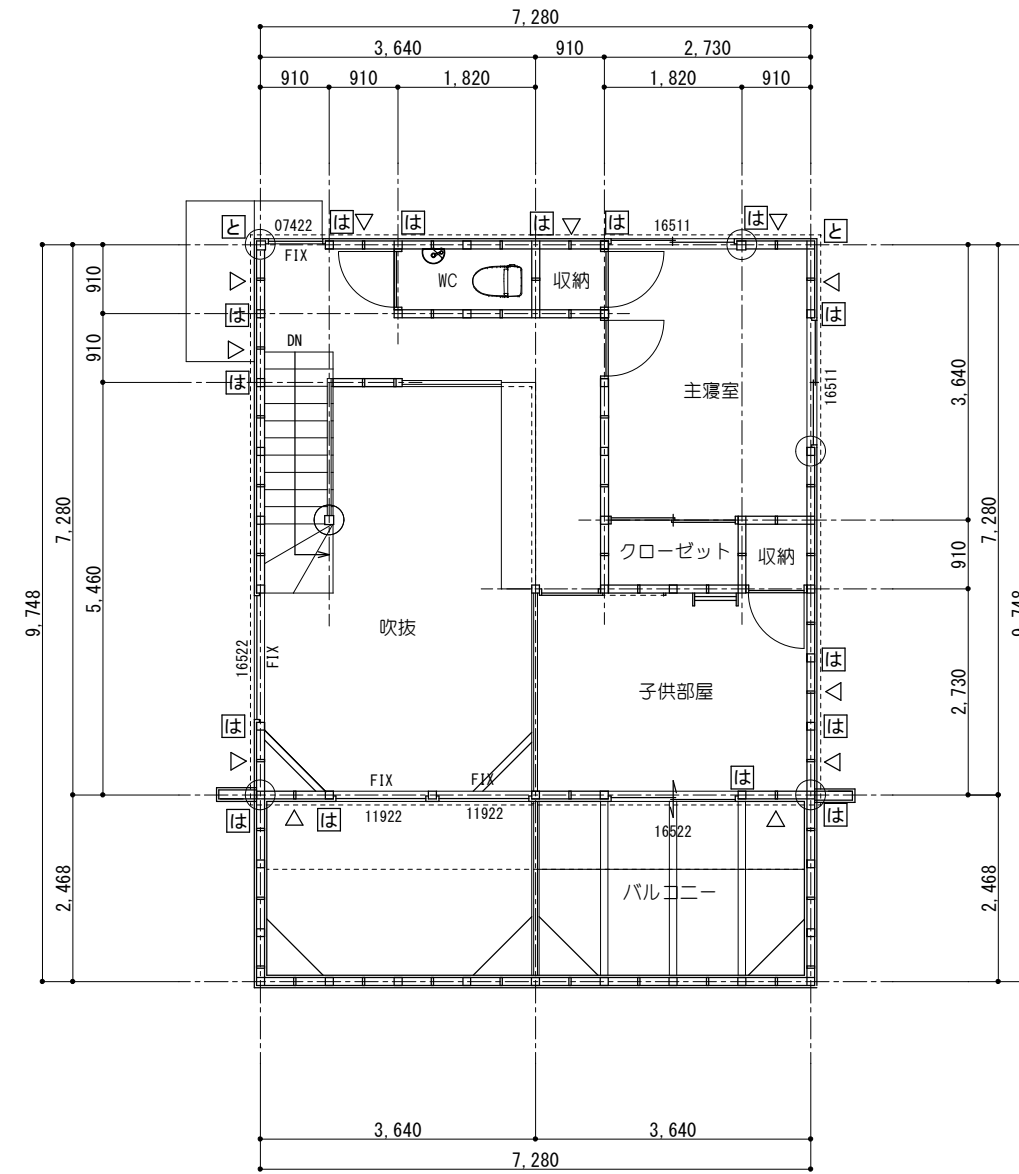
	X方向				Y方向			
	存在壁量 ÷ 必要壁量 = 壁量充足率	判定	存在壁量 ÷ 必要壁量 = 壁量充足率	判定				
1階	S1X上 1365 ÷ 337	4.05	OK	S1Y左 1092 ÷ 385	2.83	OK		
	S1X下 518 ÷ 385	1.34	OK	S1Y右 1365 ÷ 337	4.05	OK		
2階	S2X上 737 ÷ 199	3.70	OK	S2Y左 819 ÷ 87	9.41	OK		
	S2X下 546 ÷ 100	5.46	OK	S2Y右 737 ÷ 199	3.70	OK		



- 凡例
- △ 耐力壁：大建工業 ダイライトMS 12mm 壁倍率3倍
 - ▽ 耐力壁：コボット 壁倍率2.7倍






1階平面図 S=1/100



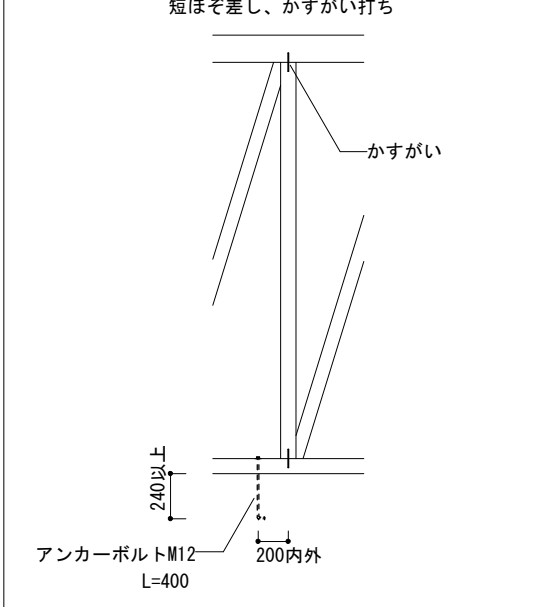
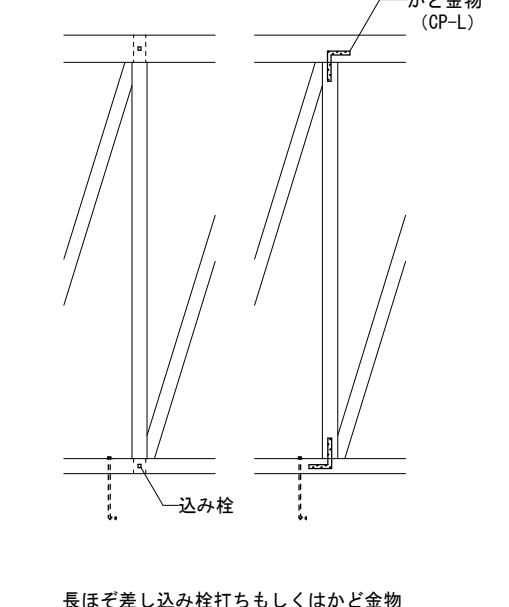
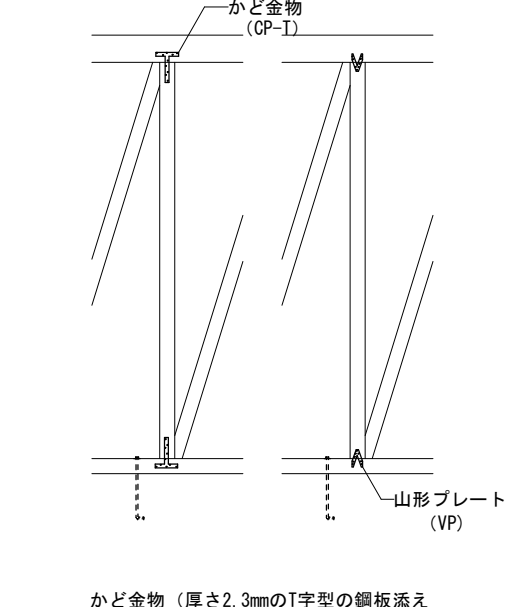
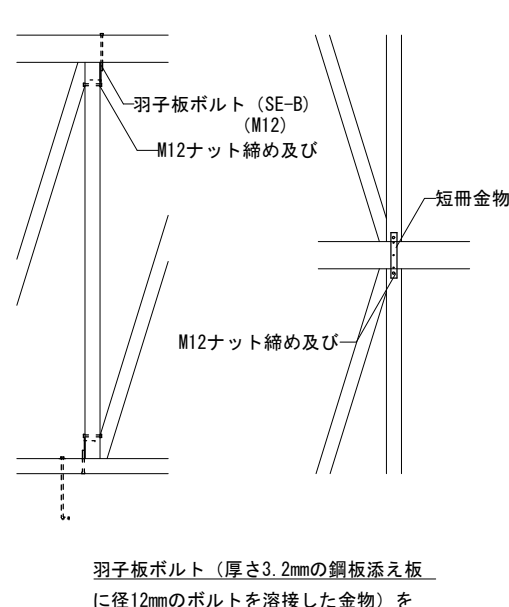
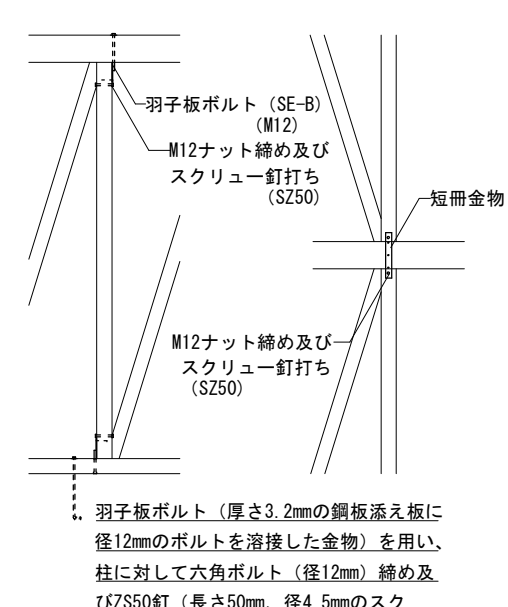
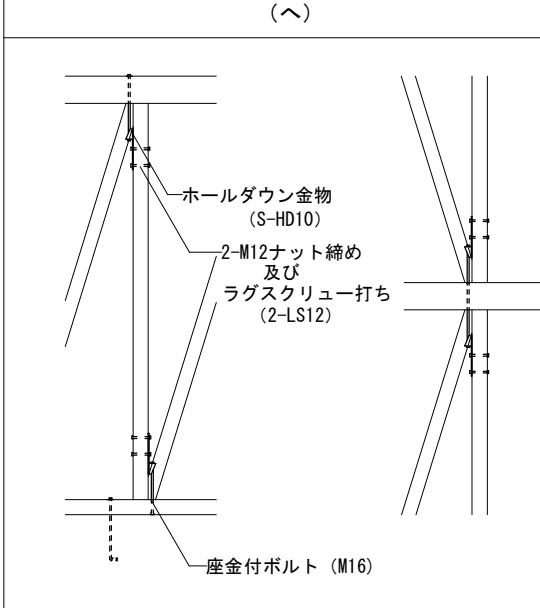
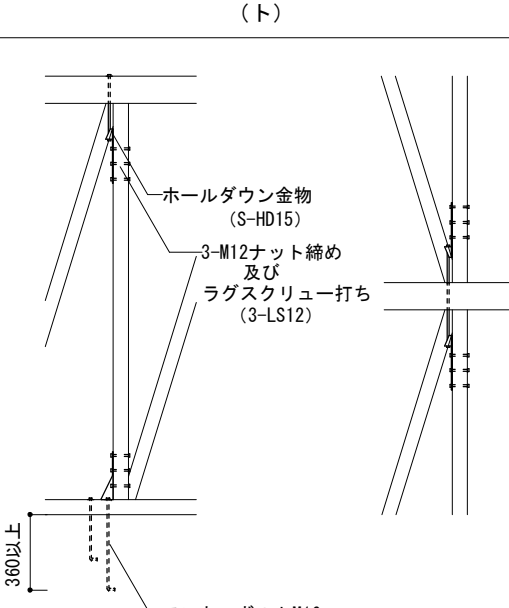
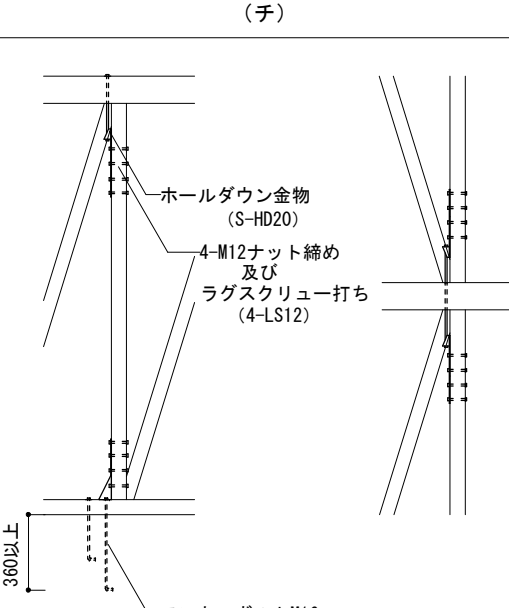
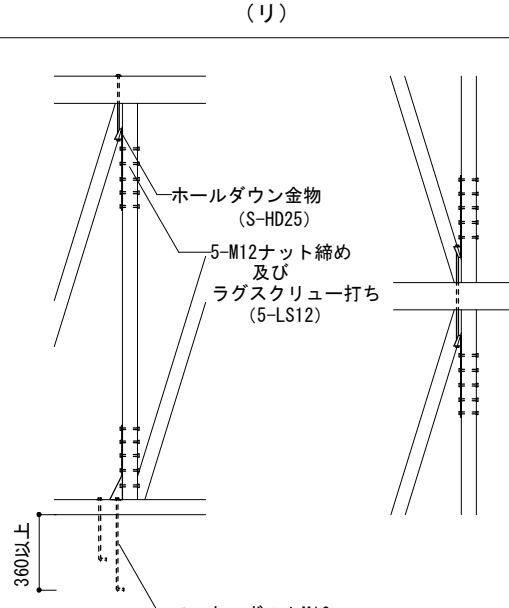
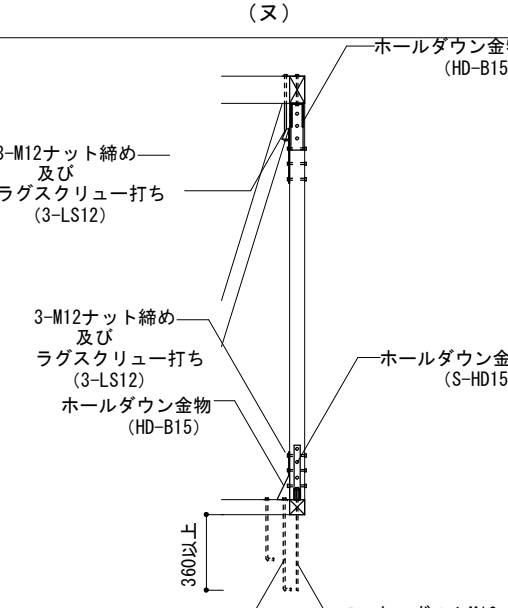
2階平面図 S=1/100

■凡例

-  耐力壁：大建工業 ダイライトMS 12mm 壁倍率3倍
-  耐力壁：コボット 壁倍率2.7倍
-  仕口金物の仕様を示す

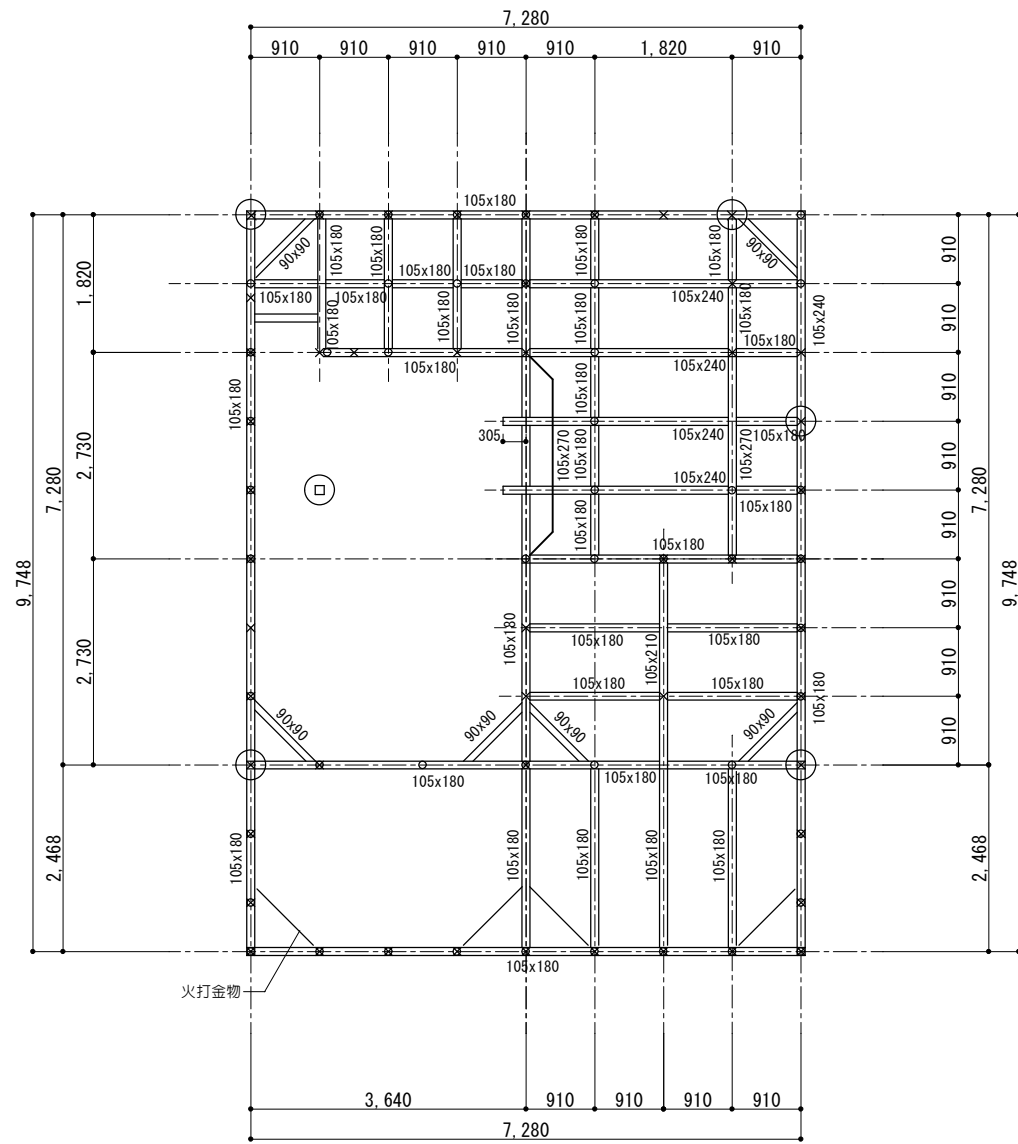
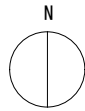
筋交いの取り付く柱と横架材の仕口

国土交通省告示第1460号

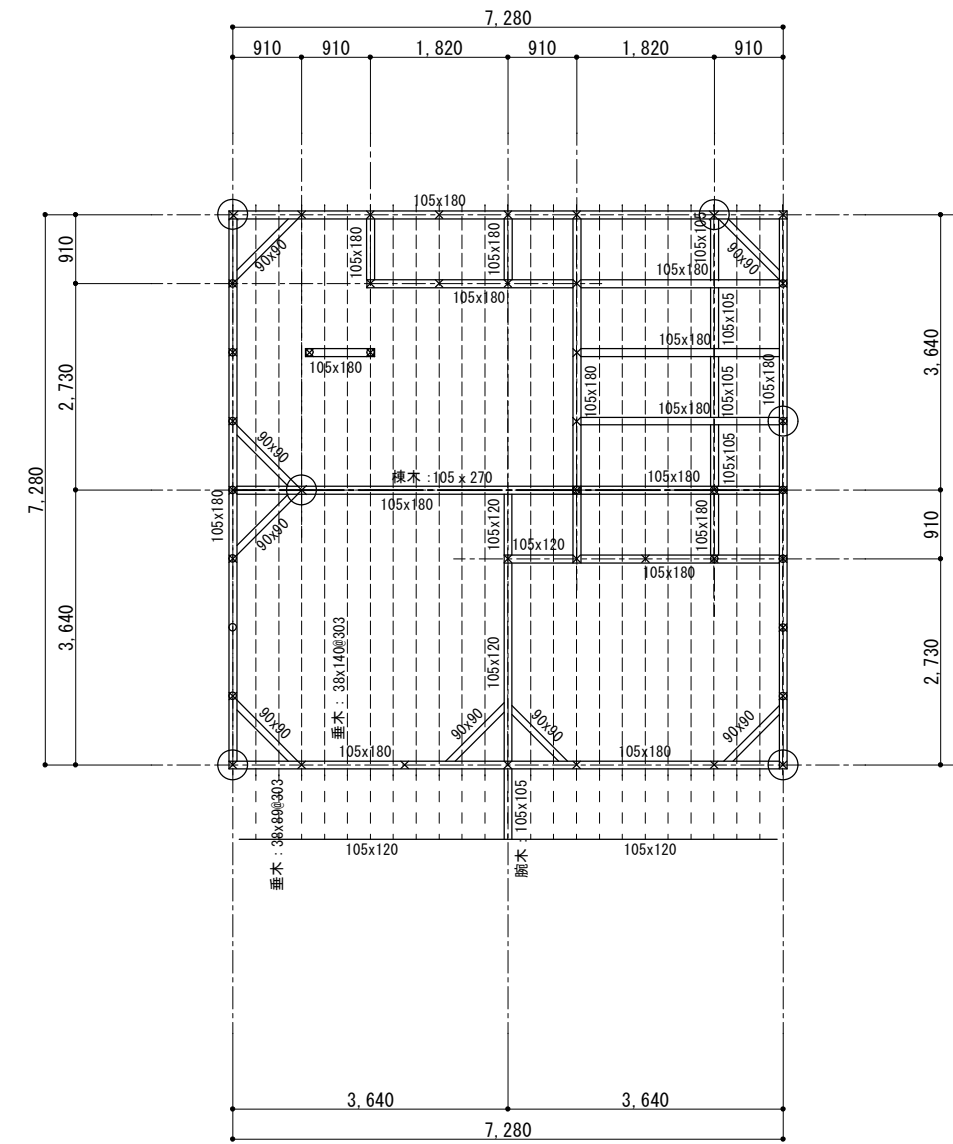
(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)
<p>短ほぞ差し、かすがい打ち</p>  <p>かすがい</p> <p>240以上</p> <p>アンカーボルトM12 L=400</p> <p>200内外</p>	<p>かど金物 (CP-L)</p>  <p>かど金物 (CP-L)</p> <p>込み栓</p> <p>240以上</p> <p>200内外</p> <p>長ほぞ差し込み栓打ちもしくはかど金物 (厚さ2.3mmのL字型の鋼板添え板) を、柱及び横架材に対してそれぞれCN65釘 (長さ6.5cmの太め鉄丸釘) を5本平打ちしたものと</p>	<p>かど金物 (CP-I)</p>  <p>かど金物 (CP-I)</p> <p>山形プレート (VP)</p> <p>240以上</p> <p>200内外</p> <p>かど金物 (厚さ2.3mmのI字型の鋼板添え板) を用い、柱及び横架材にそれぞれCN65釘 (長さ6.5cmの太め鉄丸釘) を5本平打ちしたものと若しくは山形プレート (厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板) を用い、柱及び横架材にそれぞれCN90釘 (長さ9.0cmの太め鉄丸釘) を4本平打ちとしたものと</p>	<p>羽子板ボルト (SE-B) (M12)</p> <p>M12ナット締め及び</p>  <p>短冊金物 (S)</p> <p>M12ナット締め及び</p> <p>240以上</p> <p>200内外</p> <p>羽子板ボルト (厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物) を用い、柱に対して六角ボルト (径12mm) 締め、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めをしたものもしくは短冊金物 (厚さ3.2mmの鋼板添え板) を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ六角ボルト (径12mm) 締めとしたもの</p>	<p>羽子板ボルト (SE-B) (M12)</p> <p>M12ナット締め及び</p> <p>短冊金物 (S)</p>  <p>短冊金物 (S)</p> <p>M12ナット締め及び</p> <p>240以上</p> <p>200内外</p> <p>羽子板ボルト (厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物) を用い、柱に対して六角ボルト (径12mm) 締め及びZS50釘 (長さ50mm、径4.5mmのスクリュー釘) 打ち、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金お介してナット締めした又は、短冊金物 (厚さ3.2mmの鋼板添え板) を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ六角ボルト (径12mm) 締め及びZS50釘 (長さ50mm、径4.5mmのスクリュー釘) 打ちとしたもの</p>
<p>ホールダウン金物 (S-HD10)</p> <p>2-M12ナット締め及び</p> <p>ラグスクリー打ち (2-LS12)</p>  <p>座金付ボルト (M16)</p> <p>360以上</p> <p>150内外</p> <p>ホールダウン金物 (厚さ3.2mmの鋼板添え板) を用い、柱に対して六角ボルト (径12mm) 2本、横架材、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該ホールダウン金物に止め付けた六角ボルト (径16mm) を介して緊結したもの</p>	<p>ホールダウン金物 (S-HD15)</p> <p>3-M12ナット締め及び</p> <p>ラグスクリー打ち (3-LS12)</p>  <p>アンカーボルトM16 L=600</p> <p>360以上</p> <p>150内外</p> <p>ホールダウン金物 (厚さ3.2mmの鋼板添え板) を用い、柱に対して六角ボルト (径12mm) 3本、横架材 (土台を除く)、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該ホールダウン金物に止め付けた六角ボルト (径16mm) を介して緊結したもの</p>	<p>ホールダウン金物 (S-HD20)</p> <p>4-M12ナット締め及び</p> <p>ラグスクリー打ち (4-LS12)</p>  <p>アンカーボルトM16 L=600</p> <p>360以上</p> <p>150内外</p> <p>ホールダウン金物 (厚さ3.2mmの鋼板添え板) を用い、柱に対して六角ボルト (径12mm) 4本、横架材 (土台を除く)、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該ホールダウン金物に止め付けた六角ボルト (径16mm) を介して緊結したもの</p>	<p>ホールダウン金物 (S-HD25)</p> <p>5-M12ナット締め及び</p> <p>ラグスクリー打ち (5-LS12)</p>  <p>アンカーボルトM16 L=600</p> <p>360以上</p> <p>150内外</p> <p>ホールダウン金物 (厚さ3.2mmの鋼板添え板) を用い、柱に対して六角ボルト (径12mm) 5本、横架材 (土台を除く)、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該ホールダウン金物に止め付けた六角ボルト (径16mm) を介して緊結したもの</p>	<p>ホールダウン金物 (HD-B15)</p> <p>3-M12ナット締め及び</p> <p>ラグスクリー打ち (3-LS12)</p>  <p>ホールダウン金物 (S-HD15)</p> <p>アンカーボルトM16 L=600</p> <p>360以上</p> <p>150内外</p> <p>(ト)に掲げる仕口を2組用いたもの</p>

接合部の仕様 平12建告第1460号表3より

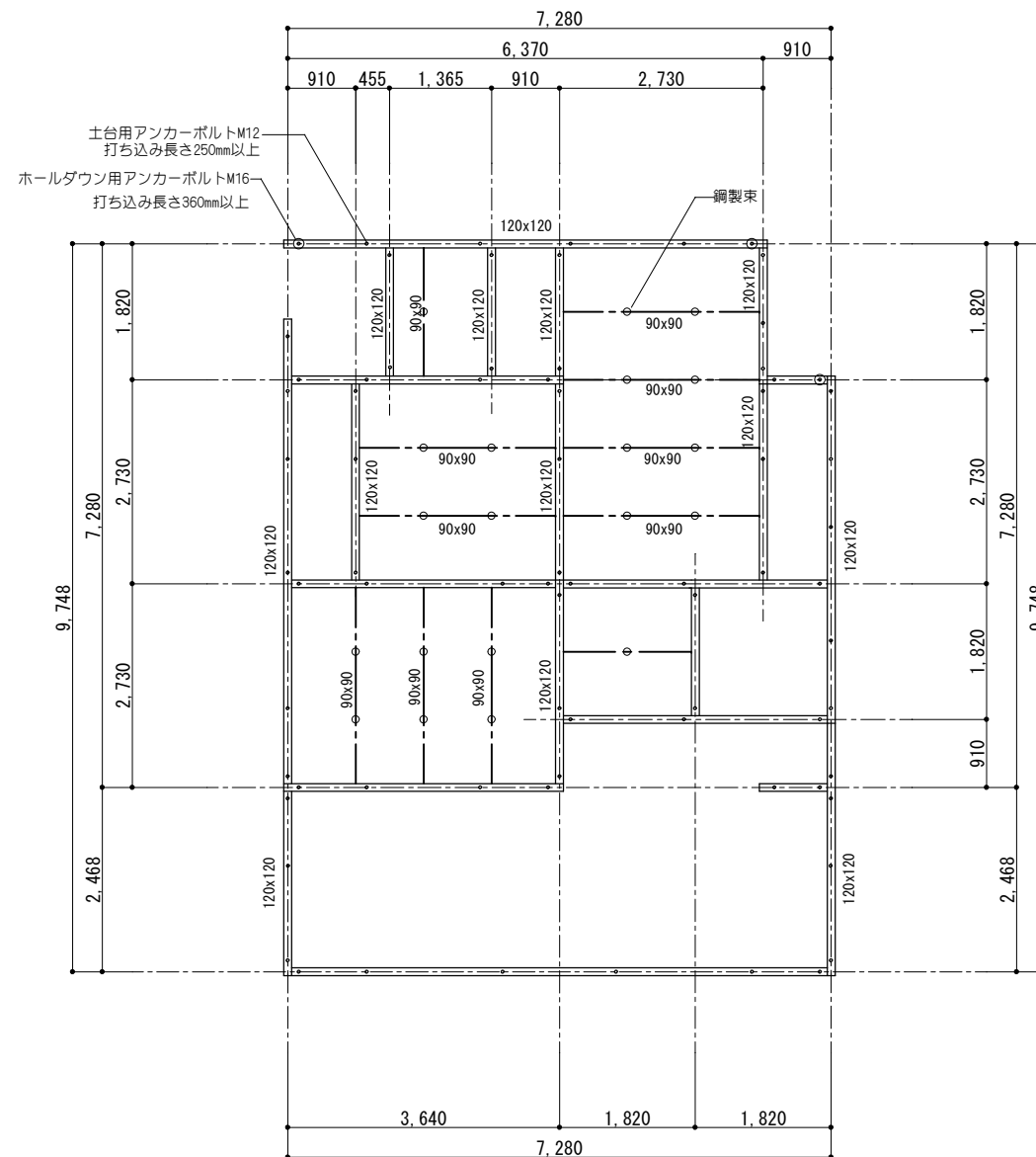
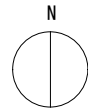
<p>(い) 短ほぞ差し、かすがい打ち 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>胴差し かすがい 柱 土台</p>	<p>(へ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>ボルト2本 引き寄せ金物 HD-B10 HD-N10 S-HD10</p>
<p>(ろ) 長ほぞ差し込み栓打ち もしくは厚さ2.3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本打つとしたもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>柱 土台 CP-L かど金物CP-L t 2.3</p>	<p>(と) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材（土台を除く。）、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>ボルト3本 引き寄せ金物 HD-B15 HD-N15 S-HD15</p>
<p>(は) 厚さ2.3mmのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本平打ちしたもの もしくは厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄丸くぎを4本平打ちとしたもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>胴差し 胴差し 柱 柱 土台 土台 CP-T VP かど金物 CP-L t 2.3 山形プレートVP</p>	<p>(ち) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材（土台を除く。）、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>ボルト4本 引き寄せ金物 HD-B20 HD-N20 S-HD20</p>
<p>(に) 厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めをしたもの もしくは厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締めとしたもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>羽子板ボルトSB 短ざく金物S M12 t 3.2 羽子板ボルトSB</p>	<p>(り) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、横架材（土台を除く。）、布基礎もしくは上下階の連続する柱に対して当該添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>ボルト5本 引き寄せ金物 HD-B25 HD-N25 S-HD25</p>
<p>(ほ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーナー釘打ち、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めしたもの 又は厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーナー釘打ちとしたもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの</p>	 <p>羽子板ボルトSB +スクリーナー釘 短ざく金物S +スクリーナー釘</p>	<p>(ぬ) (と)に掲げる仕口を2組用いたもの</p>	 <p>ボルト6本 引き寄せ金物 HD-B15 x2 HD-N15 x2 S-HD15 x2</p>



2階床伏図 S=1/100



小屋伏図 S=1/100



小屋伏図 S=1/100

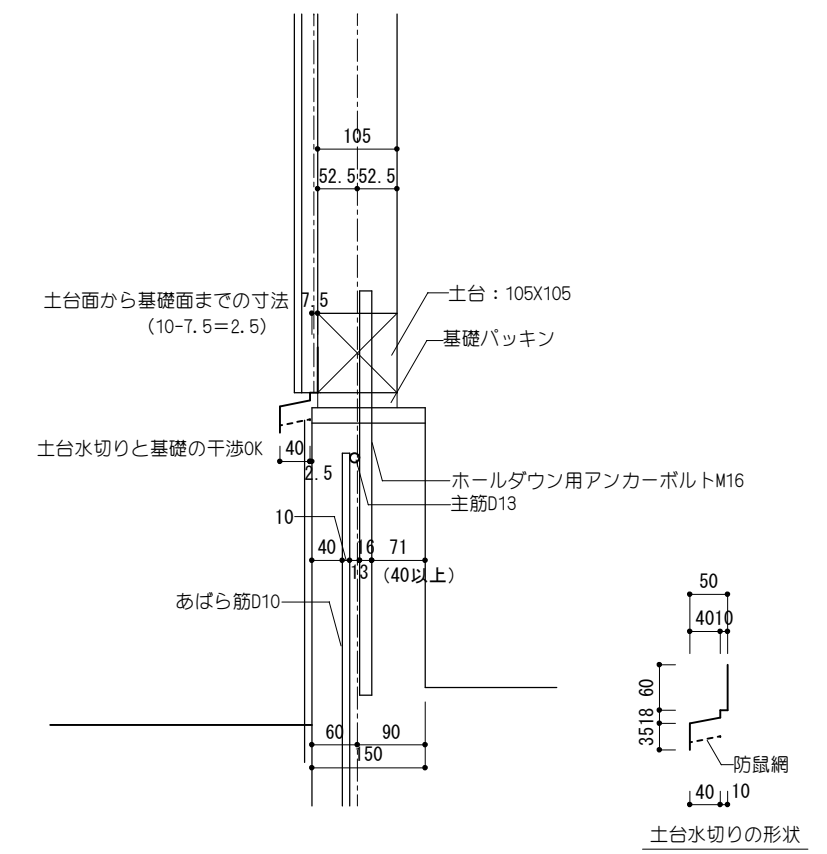
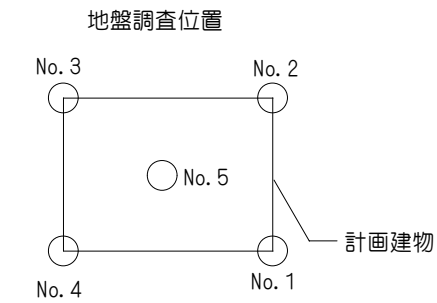
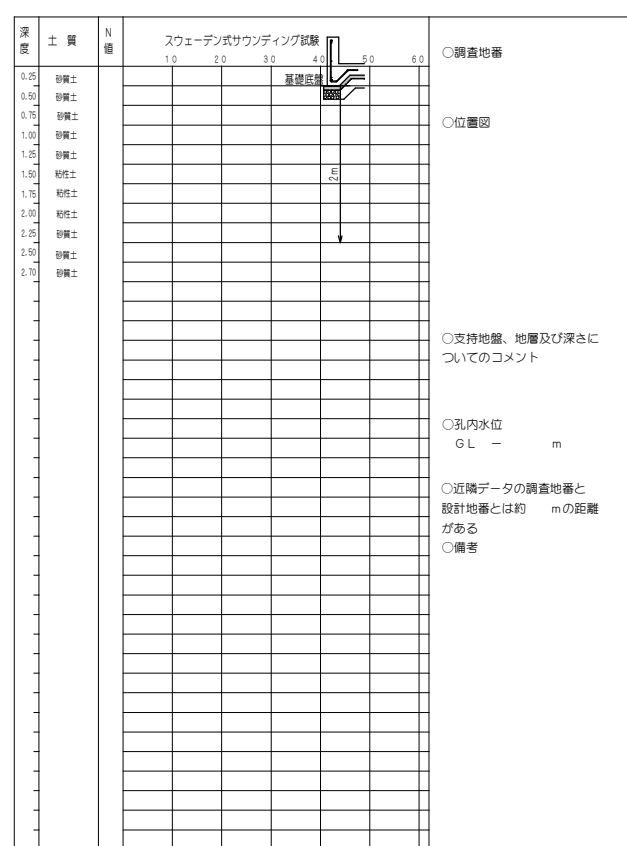
■ 部位別使用樹種一覧表

部位	樹種
土台	ヒノキ
火打土台	スギ
柱	スギ
間柱	スギ
胴差し	スギ
桁	スギ
梁	スギ
火打梁	スギ
大引	スギ
垂木	SPF
棟木	スギ

- × 下部柱を示す
- 上部柱を示す

設計概要

1. 建築地
2. 地盤種別
3. 地耐力
4. 基礎仕様の決定



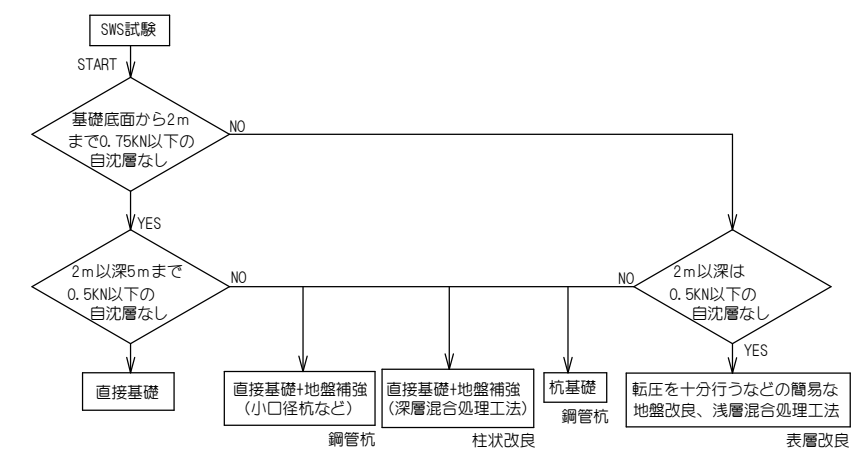
基礎立ち上りの寄り寸法について

設計条件

1. 標準仕様書

設計図書に記載なきものは「住宅金融支援機構監修・木造住宅工事仕様書」、
「国土交通大臣官房官庁営繕部監修・木造建築工事共通仕様書」及び
「(社)日本建築家協会監修・建築工事共通仕様書」に準ずる。
上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。
2. コンクリート

普通コンクリート
設計基準強度 F_c 21N/mm²
スラブ厚18cm以下
水セメント比60%以下



スウェーデン式サウンディング試験の貫入抵抗値による基礎形式の選定例 (小規模建築物基礎設計指針より)

3. 鉄筋

S D 2 9 5 A
4. アンカーボルト

土台用 M12
打ち込み長さ250mm以上
設置位置
耐力壁の両端の下部
土台継手位置
その他@2700mm以下
ホールダウン金物用 M16
打ち込み長さ360mm以上

5. 碎石

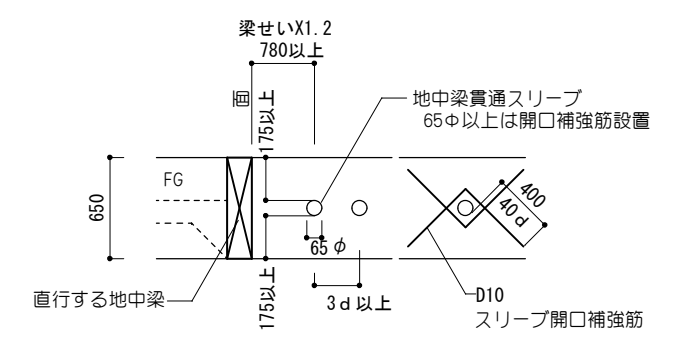
切り込み砂利、切り込み碎石又は再生クラッシュランとし、最大粒径は45mm程度とする。
6. 床下防湿層

ポリエチレンフィルム (ア) 0.15mm以上

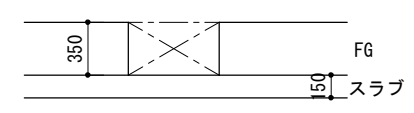
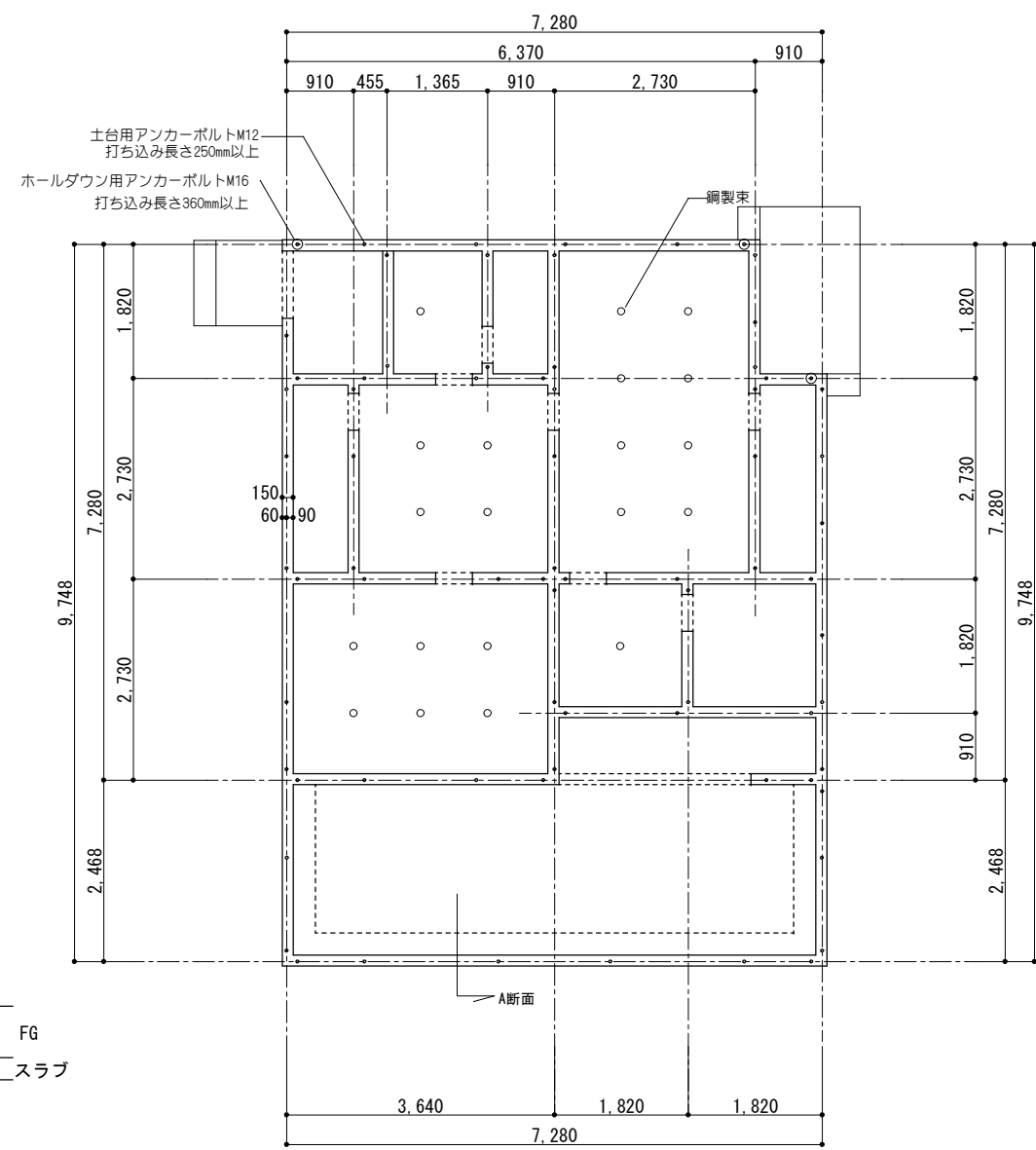
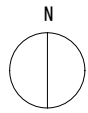
■補足
直接基礎+地盤補強
 支持力は基礎フーチングで確保し、沈下量の低減を目的として、鋼管杭を回転貫入または圧入によって設置する工法のこと。

杭基礎
 鋼管杭の支持力によって上部構造を支持する基礎。

直接基礎+地盤補強は、基礎底面の地盤支持力と杭の支持力の複合によって支持するものとして設計する為、基礎底面と杭の負担割合の算定や応力状態のモデル化が簡便に設定することができないことから、戸建住宅の場合は杭基礎として設計する。



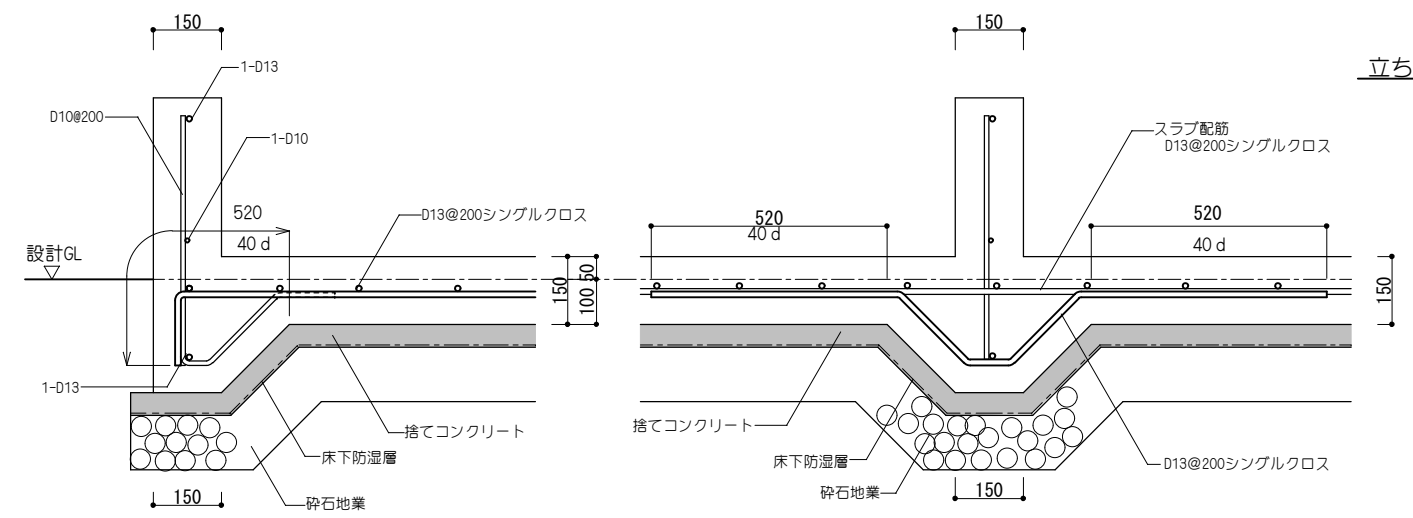
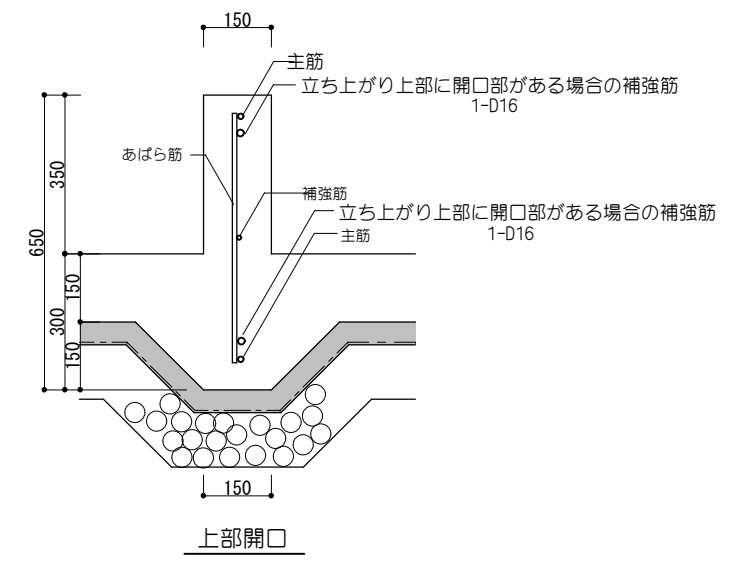
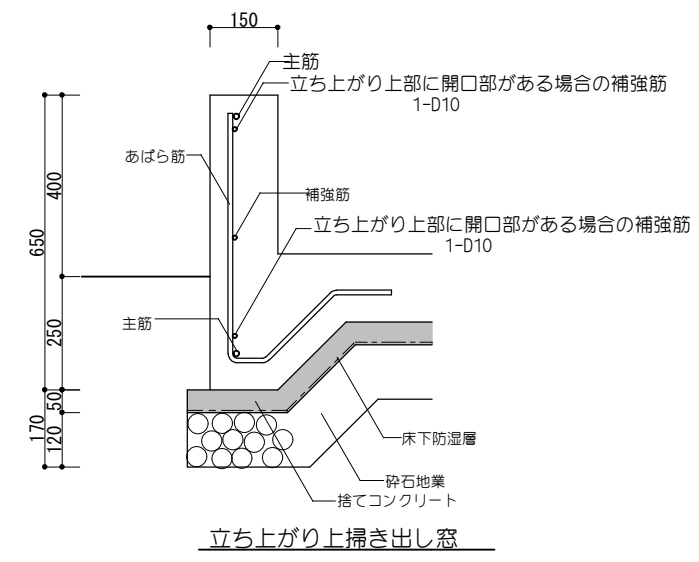
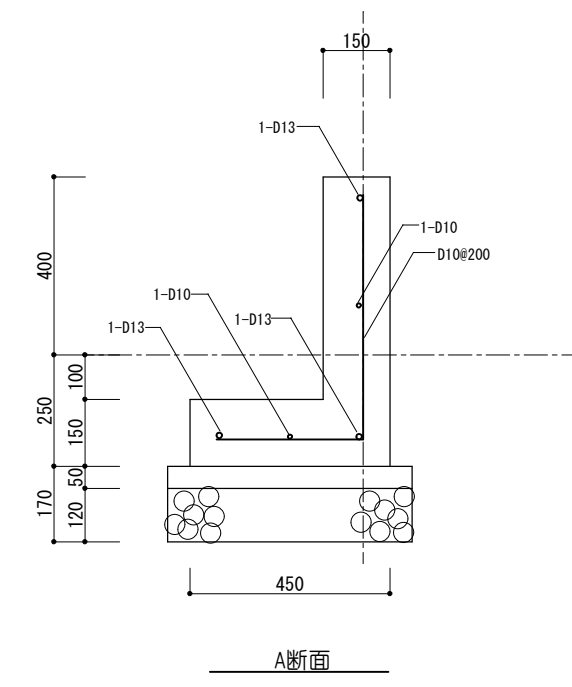
スリーブの設置と開口補強筋



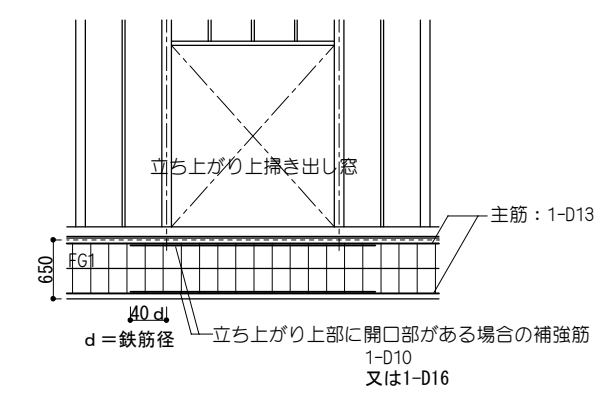
床下人通路について

■注記
 玄関ポーチャイル下地は別途
 玄関サッシ開口幅は、打合せの上決定する。

基礎伏図 S=1/100

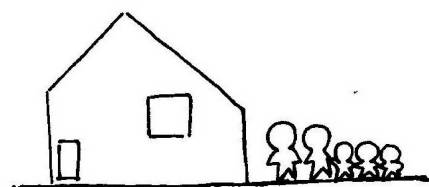


べた基礎一般部分断面



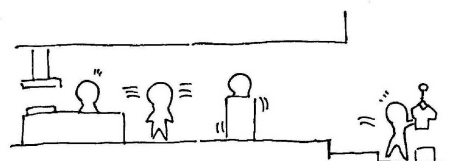
家の家

uchi no ie



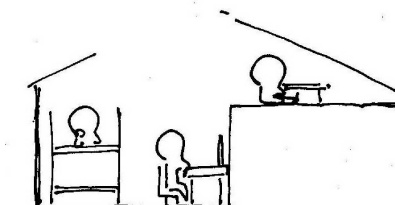
三角と四角
シンプルで”家”の象徴ともいえるかたち

▲to■
sinplu de ie no syoutyoutomoieru katachi



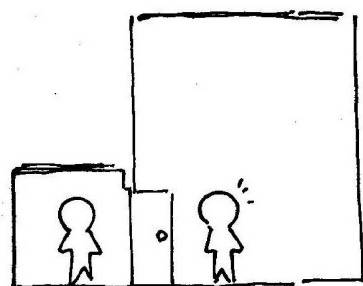
キッチンで食事をつくり
洗濯して
庭に干して
家事の一連の流れがスムーズに

kittinn de syokujiwotukuri
senntakusite
niwanihosite
kajinoitirennonagarega sumu-zuni



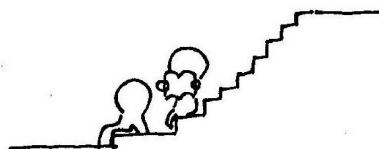
子供部屋はちょっと狭め
ロフトを上手く使ってやりくり
お子さんの成長に合わせて形を変える

kodomoheya ha chyotto semame
rofutowo umaku tukatte yarikuri
okosann no seityou ni awasetekatachiwokaeru



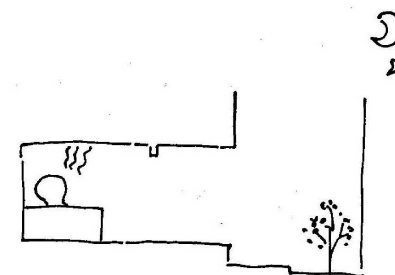
玄関ホールの空間はちょっと狭め
ドアを開くといっきに開放的なリビング空間

gennkannho-ru no kuukannha tyottosemame
doawoakeruto ikkinikaihoutekina ribingukuukann



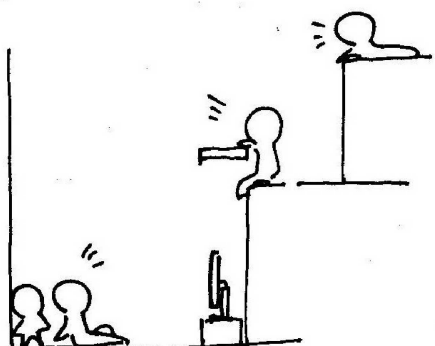
階段も椅子代わりに

kaidann mo isugawarini



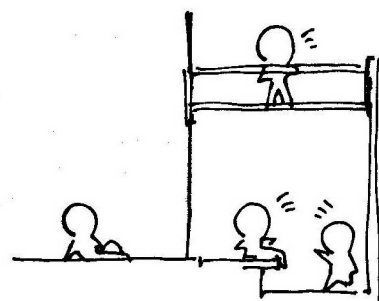
お風呂はちょっとした露天風呂気分

chyotto sita rotenburokibun



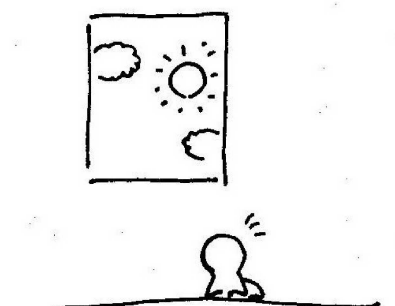
1Fリビング・2Fホール・ロフト
上方向の空間のつながり
家族の交流が自然に生まれる

1Fribinngu・2Fho-ru・rofoto
uehoukounokuukannnotunagari
kazoku no ouryuuga sizenniumareru



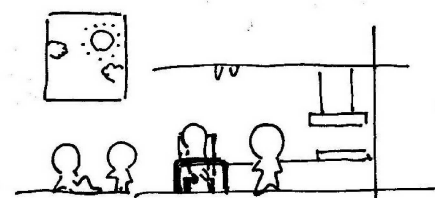
リビングは豊の間
あかちゃんにもやさしい
リビングからウッドデッキを出て庭へ
みんなの目の高さが近い
内と外のつながり
バルコニーともつながっている

ribinguha tatami no ma
akachan nimo yasasii
ribingukara uddodekkiwo deteniwahe
minnano meno takasaga tihai
utitosotono tunagari
barukoni-tomo tunagatteiru



窓がすてきな絵画に

mado ga sutekinakaigani



リビング・ダイニング・キッチン
平面のつながり

ribinngu・daininngu・kittinn
heimen no tunagari